

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	B 主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	-	25回			
		2. 分解点検 (B 1 電動機)							
		3. 分解点検 (B 2 電動機)							
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)							
	C 主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	-	25回			
		2. 分解点検 (C 1 電動機)							
		3. 分解点検 (C 2 電動機)							
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)							
	A 給水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	25回	21回		(振動診断〔電動機〕: 3M) 保全の有効性評価結果No. 11の反映 (電動機)
		2. 分解点検 (電動機)							
	B 給水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	-	25回	24回		(振動診断〔電動機〕: 3M) 保全の有効性評価結果No. 11の反映 (電動機)
		2. 分解点検 (電動機)							
	C 給水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	-	25回	25回		(振動診断〔電動機〕: 3M) 保全の有効性評価結果No. 11の反映 (電動機)
		2. 分解点検 (電動機)							
	A 復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	156M	○	21回	21回		(振動診断: 3M) 保全の有効性評価結果No. 12の反映 (電動機)
		2. 分解点検 (電動機)							
	B 復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	156M	-	25回	25回		(振動診断: 3M) 保全の有効性評価結果No. 12の反映 (電動機)
		2. 分解点検 (電動機)							
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)							
	C 復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	156M	-	25回	25回		(振動診断: 3M) 保全の有効性評価結果No. 12の反映 (電動機)
2. 分解点検 (電動機)									
3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)									
A 復水脱塩塔	1式	1. 開放点検	高	65M	-	24回		2次系容器検査	
		2. 開放点検 (電動機)							
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)							
		1. 開放点検							
		2. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
1. 開放点検									
B 復水脱塩塔	1式	1. 開放点検	高	65M	-	25回		2次系容器検査	
		2. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
C 復水脱塩塔	1式	1. 開放点検	高	65M	-	22回		2次系容器検査	
		2. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
復水タンク	1式	1. 分解点検他	低	13M~130M	○	25回		一部先行実施	
		1. 外観・目視点検							
		2. 非破壊試験							
		1. 外観点検							
		2. 非破壊試験							
		1. 外観点検							
		2. 非破壊試験							
		1. 外観点検							
		2. 非破壊試験							
		1. 外観点検							
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する管等〕	1式	1. 外観・目視点検	高	IF	○	25回		蒸気タービン開放検査	
		2. 非破壊試験							
		1. 外観点検							
		2. 非破壊試験							
		1. 外観点検							
		2. 非破壊試験							
		1. 外観点検							
		2. 非破壊試験							
		1. 外観点検							
		2. 非破壊試験							

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
蒸気タービン [その他設備]	蒸気タービン本体、蒸気タービンの附属設備	1. 保安装置点検	高	1F	○	25回	蒸気タービン性能検査	プラント運転中及び定検起動後	
		2. 負荷点検		1F	○	25回	総合負荷性能検査		
		1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	25回	原子炉補機冷却系機能検査 1 次系弁検査 1 次系安全弁検査 2 次系弁検査 2 次系安全弁検査	定期事業者検査起動後
		2. 分解点検	13M~260M		○	25回	2 次系弁検査 1 次系弁検査 1 次系逆止弁検査		
		3. 簡易点検 (グラウンドバッキング取替)	高	B	—	25回	1 次系弁検査 2 次系弁検査 原子炉補機冷却系機能検査		
		1. 機能・性能試験		52M~195M	○	25回			
		2. 分解点検	高	52M~195M	○	25回			
		3. 簡易点検(特性点検)		13M	○	25回			
		1式	1. 分解点検他	高	13M~260M	○	25回	一部先行実施 (駆動診断[湿分離器ドレンポンプ用電動機、E H ガバナ油ポンプ用電動機、循環水ポンプ駆油ポンプ、循環水ポンプ薬油ポンプ用電動機]：40、[2次系冷却水ポンプ、2次系冷却水ポンプ用電動機、低圧ドレンポンプ用電動機]：3M)	
		1. 分解点検他	13M~260M		○	25回			
			低	13M~260M	○	25回		一部先行実施(駆動診断[復水処理装置廃液中和槽排水ポンプ用電動機、再生用水ポンプ、再生用水ポンプ用電動機、復水配風路循環ポンプ、逆洗用水ポンプ、原水ポンプ用電動機]：12M、[復水器水室空気抜きポンプ、補助蒸気復水回収カクソンポンプ]：6M、[循環水ポンプ調温水ポンプ、循環水ポンプ調温水ポンプ用電動機、兼用空圧縮機用電動機]：2M、[油清浄器ポンプ、油清浄器ポンプ用電動機、復水器細管洗浄装置ポンプ]：循環ポンプ、油清浄器ポンプ用電動機、主油カクソン用電動機、空気御管カクソン用電動機、水素側密封油ポンプ用電動機、密封油ポンプ用電動機]：3M)	
		1. 分解点検他		52M~20M	○	24回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [補助ボイラー]	補助ボイラー系統 1式	1. 外観点検	低	B ※1	○	45回※2	補助ボイラー設備検査	プラント運転中 ※1 補助ボイラー設備検査は、補助ボイラー開放検査に合わせて実施する。 ただし、前回の点検後の運転時間が4000時間、かつ起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回次
	胴、管寄せ及び管 安全弁 ボイラーに附属する給水設備 ボイラーに附属する熱交換器 ボイラーに附属する通風設備 ボイラーに附属する空圧圧縮設備及びガス 圧縮設備 ボイラーに附属する管等油燃焼用機器	1. 性能試験	低	B ※1	○	45回※2	補助ボイラー性能検査	プラント運転中 ※1 補助ボイラー性能検査は、補助ボイラー開放検査に合わせて実施する。 ただし、前回の点検後の運転時間が4000時間、かつ起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回次
		2. 開放点検		10Y※1	○	45回※2	補助ボイラー開放検査	プラント運転中 ※1 補助ボイラー性能検査は、補助ボイラー開放検査に合わせて実施する。 ただし、前回の点検後の運転時間が4000時間、又は起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回次
		3. 開放点検他		5Y~20Y	○	46回※1		プラント運転中 ※1 自主点検回次 (振動診断 [A/B]補助ボイラ給水ポンプ、A/B補助ボイラ給水ポンプ用電動機、A/B補助ボイラ加圧ポンプ、A/B補助ボイラ加圧ポンプ用電動機) ; 6M [C]補助ボイラ給水ポンプ、C補助ボイラ給水ポンプ用電動機、C補助ボイラ加圧ポンプ、C補助ボイラ加圧ポンプ用電動機) ; 12M [補助ボイラ押込通風機用電動機] ; 4M
		4. 簡易点検 (ボース取替)		5Y	○	42回※1		プラント運転中 ※1 自主点検回次
	燃料運搬設備に係る油の輸送管、燃料貯蔵設備に係る油タンク	1. 開放点検	低	2Y~20Y	○	46回※1		プラント運転中 ※1 自主点検回次 (振動診断[補助ボイラ燃料ポンプ、補助ボイラ燃料ポンプ用電動機] ; 4M) 保全の有効性評価結果No.13の反映
	補助ボイラー集じん機 ばいり処理設備に附属する空圧圧縮機、通風機、破砕機又は摩砕機	1. 開放点検	低	10Y~20Y	—	38回※1		プラント運転中 ※1 自主点検回次
	補助ボイラー附属設備その他の弁	1. 機能・性能試験 1. 分解点検	低	B 1Y~10Y	—	46回※1	補助ボイラー設備検査	プラント運転中 ※1 自主点検回次
	補助ボイラー附属設備その他機器	1. 分解点検他	低	1Y~20Y	○	46回※1		プラント運転中 ※1 自主点検回次

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用電源設備]	ディーゼル発電機	2台	高	1F	○	25回	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査) 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)		
	安全注入信号及び内部スプレッド信号送信時にディーゼル発電機に電源を求める機器	33台	高	1F	○	25回	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)		
	Aディーゼル発電機		高	52M	—	25回			
	Bディーゼル発電機		高	52M	—	25回			
	Aディーゼル機関		高	26M	—	25回			
	Aディーゼル機関のシリンダ (ピストン、ピストン連接棒、シリンダヘッド、クランク軸)	No. 1	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 2	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 3	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 4	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 5	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 6	1. 分解点検	高	130M	—	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 7	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 8	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 9	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 10	1. 分解点検	高	130M	—	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 11	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 12	1. 分解点検	高	130M	—	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Bディーゼル機関	No. 1	1. 分解点検	高	26M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 2	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 3	1. 分解点検	高	130M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 4	1. 分解点検	高	130M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 5	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 6	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 7	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
No. 8		1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No. 9		1. 分解点検	高	130M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No. 10		1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No. 11		1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
No. 12		1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
Aディーゼル機関の吸気弁	24個	1. 分解点検	高	26M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Bディーゼル機関の吸気弁	24個	高	26M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Aディーゼル機関の排気弁	24個	高	26M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Bディーゼル機関の排気弁	24個	高	26M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
Aディーゼル機関の燃料噴射弁	12個	1. 分解点検	高	13M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Bディーゼル機関の燃料噴射弁	12個	高	13M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○)内は適用する設備(診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用電源設備]	ディーゼル発電機附属設備	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	非常用予備発電機附属設備検査	(振動診断 [燃料弁冷却水ポンプ、燃料弁冷却 水ポンプ用電動機] : 1M [温水中継環ポンプ、温水中継環ポンプ 用電動機、潤滑油ブライミングポン プ] : 3M)
		2. 非破壊試験		13~39M	○	25回		
		3. 外観点検	高・低	1F	○	25回	非常用予備発電機附属設備検査	
		4. 特性試験		13M	○	25回	非常用予備発電機附属設備検査	
		5. 分解点検		26M~130M	○	25回		
		6. 開放点検	高	13M~130M	○	25回		
		7. 漏えい試験		13M~39M	○	25回		
	空冷式非常用発電装置	1. 機能・性能試験	高	6M	○	25回	その他非常用発電装置の機能検査,そ の他非常用発電装置の附属設備検査	平成23年10月に設置
		2. 取替他		10Y	-	-		
		1. 機能・性能試験	高	3M	○	25回	可搬型代替電源設備検査	25回施設検査時に設置
		1. 機能・性能試験	高	3M	○	25回	可搬型代替電源設備検査	25回施設検査時に設置
		1. 機能・性能試験	高	3M	○	25回	可搬型代替電源設備検査	25回施設検査時に設置
		1. 開放点検	高	10F	-	-		25回施設検査時に設置
		1. 外観点検他	高	6M~1Y	○	25回	25回施設検査時に設置	25回施設検査時に設置 消防法に基づく点検
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用予備発電装置] その他機器	1式	1. 分解点検	高・低	13M~130M	○	25回		
		1. 分解点検他	高	13M~195M	○	25回		
		1. 分解点検他	低	13M~260M	○	25回		一部BMあり
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	直流電源系機能検査	直流電源系機能検査は25回施設設 定期検査より追加
		2. 機能・性能試験 (動作機能)		1F	○	25回	直流電源系動作検査	直流電源系動作検査は25回施設設 定期検査より追加
		3. 簡易点検(充電)		2回/Y	○	25回		プラント運転中は定検停止中
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	インバータ機能検査	
	2組(60個/組)	1. 機能・性能試験	高	13M	○	25回	インバータ機能検査	
		2. 特性試験他	高	1F	○	25回		25回施設検査時に設置
		1. 外観点検	高	1Y	○	25回		
		2. 電圧測定	高	1Y	○	25回		25回施設検査時に設置
		1. 外観点検	高	1Y	○	25回		
		2. 電圧測定	高	1Y	○	25回		25回施設検査時に設置
		1. 分解点検他	高	13M~273M	○	25回		一部BMあり
その他発電用原子炉の附属施設 [その他の電源装置] その他機器	1式	1. 分解点検他	低	13M~208M	○	25回		
		1. 分解点検	高	13M~104M	○	25回		
		1. 分解点検他	高	13M~78M	○	25回		
		1. 分解点検他	高	156M	-	25回		
		1. 分解点検他	高	13M~364M	○	25回		振動診断[相分離母線冷却 ファン電動機] : 6M
		1. 分解点検他	低	13M~208M	○	25回		一部BMあり
		1. 分解点検他						
	発電機設備 変圧器設備 シヤ断器	1. 分解点検他	高	13M~208M	○	25回		
		1. 分解点検他	高	13M~104M	○	25回		
		1. 分解点検他	高	13M~78M	○	25回		
		1. 分解点検他	高	156M	-	25回		
		1. 分解点検他	高	13M~364M	○	25回		
		1. 分解点検他	低	13M~208M	○	25回		
		1. 分解点検他						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○)内は適用する設備(診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [火災防護設備]	電動消火ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 3. 分解点検(電動機)	高	1Y 4Y CM	○ — —	25回 25回 —	—	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 (振動診断「電動機」: 1M)
	消火水ポンプ	2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(ポンプ) 3. 分解点検(電動機)	高	B※ 130M 130M	— — —	— — —	火災防護設備検査	B※: ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 25回施設設定検時に設置
	消火水タンク	1. 開放点検 1. 取替 1. 外観点検	高 高 低	130M 10F	— — —	— — —	—	25回施設設定検時に設置 プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設設定検時に設置
	煙等流入防止装置	1. 取替 1. 外観点検	高 低	130M 10F	— —	— —	—	25回施設設定検時に設置 プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設設定検時に設置
	オイルパン、ドレンパン(燃料取替用水ポンプ、充てん高圧注入ポンプ、ほう酸ポンプ、計器用コンプレッサ、チラーユニット、冷水ポンプ、1次系冷却水ポンプ他)	1. 特性試験他	高	1Y~130M	○	—	—	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設設定検時に設置
	その他発電用原子炉の附属施設 [火災防護設備] その他機器	1. 外観点検他 1. 外観点検	高 高	1M~130M 10Y	○ —	— —	—	25回施設設定検時に設置 プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設設定検時に設置
	堰、浸水防止堰、伝播防止堰	1. 外観点検 1. 外観点検	高 高	10Y	— —	— —	—	25回施設設定検時に設置 プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設設定検時に設置
	水密扉	1. 外観点検	高	1F	○	—	—	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設設定検時に設置
	潮位計	1. 機能・性能試験	高・低	1F	○	—	—	計測制御系監視機能検査
	津波監視カメラ	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—	—	計測制御系監視機能検査
湧水サンプリング排水系統	1. 機能・性能試験	低	B※	—	—	—	浸水防護設備検査 B※: ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
湧水サンプリングポンプ・電動機	1. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機)	低	130M CBM	— —	— —	— —	(メカ測定: 1F) 25回施設設定検時に設置 (水中ポンプから機型ポンプに変更)	
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他装置	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他の弁	1. 機能・性能試験	低	B	—	—	—	浸水防護設備検査検査は、25回施設設定検時から設定
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他の弁駆動部	2. 分解点検 1. 機能・性能試験	低	91M B	— —	— —	—	浸水防護設備検査検査は、25回施設設定検時から設定
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他機器	2. 分解点検 1. 外観点検他	高・低	156M 10Y	— —	— —	—	25回施設設定検時に設置
	軽油用ドラム缶	1. 取替	高	2Y	—	—	—	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設設定検時に設置
	海水ポンプ室	1. 外観点検	高	1Y	○	25回	—	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設設定検時に設置
	外部遮へい壁、内部コンクリート、原子炉格納施設基礎、原子炉補助建屋、取水構造物、タービン建屋(タービン架台)	1. 非破壊試験	高・低	5Y	○	25回	—	プラント運転中又は定期検査停止中 25回施設設定検時に設置
	原子炉建屋	1. 外観点検	高・低	1F	○	25回	—	定期事業者検査起動後
	取水口設備	1. 外観点検	高	1F	○	25回	—	定期事業者検査起動後
	原子炉及びその附属設備 (補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く)	1. 総合性能試験	高	1F	○	25回	—	定期事業者検査起動後
	全設機器	1. 分解点検他	低	13M~104M	○	25回	—	(振動診断「スクリーン」洗浄ポンプ用電動機): 4M) 一部先行実施

クラス1 機器供用期間中検査7年計画

1. 原子炉容器 (1/2)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)							備考																						
								2008年度 第23回サイクル*	2009年度 第24回サイクル*	2010年度	2011年度 ～ 2020年度 第25回保全サイクル	2021年度 第26回保全サイクル	2022年度	2023年度																							
B1.101	B-A	上部胴と中間胴との周溶接継手	体積	100%	1シーーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	-	-	-	-	-	-	-																							
															中間胴と下部胴との周溶接継手	体積	100%	1シーーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	-	-	-	-	-	-											
																											中間胴の長手溶接継手	体積	100%	3シーーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	-	-	-	-	-
B1.102	B-A	下部胴と下部鏡板との周溶接継手	体積	100%	3シーーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	-	-	-	-	-	-	-																							
															下部胴と下部鏡板との周溶接継手	体積	100%	1シーーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	-	-	-	-	-												
																										下部鏡板の周溶接継手	体積	100%	1シーーム	UT	100% (可能範囲)	-	-	-	-		
B2.121	B-B	下部鏡板の周溶接継手	体積	100%	4シーーム	UT	100% (可能範囲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-																					
B2.122	B-B	下部鏡板の長手溶接継手	体積	100%	1シーーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	-	5%	-	-	-	-	-	-	-																					
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%	1シーーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-																					
B3.106		上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積	100%	1シーーム	UT	100% (可能範囲)	-	20%	-	-	-	-	-	-	20%																					
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%	3箇所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-																					
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	3箇所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-																					
		冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%	3箇所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-																					
B3.20	B-D	冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%	3箇所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-																					

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規投発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を亀裂解釈NRA文書改正の施行日より適用する。なお、本サイクル内の過去の維持規格適用期間は以下の通り。

- ・維持規格2002年版：2008年度～2013年6月(本サイクル開始～新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用まで)
- ・維持規格2008年版：2013年7月～2019年5月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～亀裂解釈NRA文書改正まで)

1. 原子炉容器 (2/2)

維持規格		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度 第23回	2009年度 第24回保全サイクル	2010年度	2011年度 ～ 2020年度 第25回保全サイクル	2021年度 第26回保全サイクル	2022年度	2023年度 第27回保全サイクル
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	100%	3箇所	水中UT・PT(内面)	100%(可能範囲)		Cr-7(PT)	-		3箇所(UT)Br-7(PT)	-	Al-7(PT)
B6.10		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	100%	3箇所	水中UT・PT(内面)	100%(可能範囲)	AW-7(PT)		-	Br-7(PT)	-		
B6.30		ナット	VT-1	100%	58個	VT-1	100%	11個	12個	-	12個	-	11個	
B6.40	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	58本	UT	100%	11本	12本	-	12本	-	11本	
B6.50		胴フランジネジ次のネジ部	体積	100%	58箇所	UT	100%	11箇所	12箇所	-	12箇所	-	11箇所	
B7.10	B-G-2	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	58個	VT-1	100%	11個	12個	-	12個	-	11個	
B14.10	B-0	T/Cハウジングのマーマンクランプ用ボルト、ナット	VT-1	25%	4組	VT-1	25%(1組)		1組	-		-		
B15.10	B-P	制御棒駆動ハウジングの溶接継手	体積又は表面	最外周の25%	20箇所	PT	最外周の25%(5箇所)		2箇所	-	3箇所	-		
F1.41	F-A	圧力保持範囲	VT-2	漏えい試験時100%	1式	VT-2	漏えい試験時100%(可能範囲)	100%	100%	-	100%	-	100%	
G1.10		支持構造物	VT-3	25%	6箇所	VT-3	25%(2箇所)		1箇所(C出口)	-		-	1箇所(A入口)	
G1.40	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	7.5%	1基	VT-3(水中テレビ)	各検査時期に100%(可能範囲)		100%	-		-	100%	
G1.50	G-P-2	内部取付け物	VT-3	7.5%	4箇所	VT-3(水中テレビ)	100%			-		-	下段の構造物・取付け物に統合	
		構造物・取付け物	VT-3	7.5%	1基	VT-3(水中テレビ)	100%			-		-	100%	
		炉心支持構造物	VT-3	7.5%	1基	VT-3(水中テレビ)	100%(可能範囲)			-		-	100%	

2. 加圧器 (1 / 2)

項目 番号	カテ ゴリ	維 持 規 格 J S M E S N A 1 - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4	美 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (7 カ 年)										備 考			
			検 査 の 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設 備 数	検 査 方 法	検 査 範 囲	2008 年度 第23回 サイクル	2009 年度 第24保全 サイクル	2010 年度 -	2011年度 ～ 2020年度 第25保全 サイクル		2021 年度 第26保全 サイクル	2022 年度 -	2023 年度 第27保全 サイクル
B2.11			上部鏡板と上部胴との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%	2.5%	-	2.5%	-	-	-		
			下部鏡板と下部胴との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%	2.5%	-	2.5%	-	-	-		
B2.12	B-B		上部胴の長手溶接継手	体積	10%	2シーム	UT	10%	5%	-	-	-	-	5%		
			下部胴の長手溶接継手	体積	10%	2シーム	UT	10%	5%	-	-	-	-	5%		
B2.13			上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%	1シーム	UT	5%	2.5%	-	2.5%	-	-	-		
B3.30			管台と容器との溶接継手													
			安全弁用管台と容器との溶接継手													
			逃がし弁用管台と容器との溶接継手	体積	管台数の 25%	3箇所	UT	管台数の 25% (2箇所)								
			スプレ用管台と容器との溶接継手	体積	25%	1箇所	UT	25%								
			サージ用管台と容器との溶接継手	体積	25%	1箇所	UT	25%								
B3.40			管台内面の丸みの部分													
			安全弁用管台内面の丸みの部分	体積	管台数の 25%	3箇所	UT	管台数の 25% (2箇所)								
			逃がし弁用管台内面の丸みの部分	体積	25%	1箇所	UT	25%								
			スプレ用管台内面の丸みの部分	体積	25%	1箇所	UT	25%								
			サージ用管台内面の丸みの部分	体積	25%	1箇所	UT	25%								
B5.40	B-F		管台とセーフエントとの溶接継手 (呼び径100A以上)													
			安全弁用管台とセーフエントとの溶接継手	体積 及び表面	管台数の 25%	3箇所	UT・PT	管台数の 25% (2箇所)								
			逃がし弁用管台とセーフエントとの溶接継手	体積 及び表面	25%	1箇所	UT・PT	25%								
			スプレ用管台とセーフエントとの溶接継手	体積 及び表面	25%	1箇所	UT・PT	25%								
			サージ用管台とセーフエントとの溶接継手	体積 及び表面	25%	1箇所	UT・PT	25%								

2. 加圧器 (2 / 2)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度 第23回	2009年度 第24保全サイクル	2010年度	2011年度 ~ 2020年度 第25保全サイクル		2021年度 第26保全サイクル	2022年度
B7.20	B-G-2	マンホールの取付ボルト	VT-1	25%	16本	VT-1	25% (4本)		2本	-			-	2本
B8.20	B-H	支持部材の容器への取付溶接継手 (支持スカートとの溶接継手)	表面	7.5%	1シーム	PT	7.5%	4%		-	3.5%		-	
B15.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい試験時 100% (可能範囲)	100%	100%	-	100%	100%	-	100%
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	1箇所	VT-3	25% (1箇所)			-		1箇所	-	

3. 蒸気発生器 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)					備考			
								2008年度 第23回	2009年度 第24回保全サイクル	2010年度	2011年度 ～ 2020年度 第25回保全サイクル	2021年度 第26回保全サイクル		2022年度	2023年度 第27回保全サイクル	
B2.40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	体積	代表1基の25%	1シム/基×3基	UT	代表1基の25%	2008年度 第23回	2009年度 第24回保全サイクル	2010年度	2011年度 ～ 2020年度 第25回保全サイクル	2021年度 第26回保全サイクル	2022年度	2023年度 第27回保全サイクル		
B3.60	B-D	冷却材入口管台及び出口管台の内面の丸みの部分	体積	代表1基の25%	2箇所/基×3基	UT	代表1基の25%									
B5.70	B-F	冷却材入口管台及び出口管台とセーフエントドとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の25%	2箇所/基×3基	UT・PT	代表1基の25% (1箇所)									*
B7.30	B-G-2	1次側マンホール取付ボルト	VT-1	代表1基の25%	20本×2箇所/基×3基	VT-1	代表1基の25% (10本)		2009年度 第24回保全サイクル			2021年度 第26回保全サイクル				
B8.30	B-H	支持部材の容器への取付溶接継手 (水室鏡とサポートパッドとの溶接継手)	表面	代表1基の7.5%	4箇所/基×3基	PT	代表1基の7.5% (1箇所)				2011年度 ～ 2020年度 第25回保全サイクル					
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい試験時100%	1式	VT-2	漏えい試験時100% (可能範囲)	2008年度 第23回	2009年度 第24回保全サイクル	2010年度	2011年度 ～ 2020年度 第25回保全サイクル	2021年度 第26回保全サイクル	2022年度	2023年度 第27回保全サイクル		
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基の25%	4箇所/基×3基	VT-3	代表1基の25% (1箇所)									

* : 「供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査」も合わせて実施

4. 配管 (1 / 5)

項目番号	カテゴリ	規格	J S M E S N A I - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)										備考	
				検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度 第23回	2009年度 第24回保全サイクル	2010年度	2011年度 ~ 2020年度 第25回保全サイクル		2021年度 第26回保全サイクル
B7.50	B-G-2	圧力保持用バルブ、ナット	配管の周溶接継手(呼び径100A以上)	VT-1	25%	9箇所	VT-1	25% (3箇所)	1箇所	2箇所	2021年度 第26回保全サイクル	2022年度	2023年度 第27回保全サイクル		
				体積	25%	36箇所	UT	25% (9箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
				体積	25%	6箇所	UT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
				体積	25%	29箇所	UT	25% (8箇所)	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所
				体積	25%	26箇所	UT	25% (7箇所)	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所
				体積	25%	45箇所	UT	25% (12箇所)	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所
				体積	25%	30箇所	UT	25% (8箇所)	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所
				体積	25%	45箇所	UT	25% (12箇所)	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所
				体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
				体積	25%	98箇所	UT	25% (25箇所)	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所
B9.11	B-J	配管の周溶接継手(呼び径100A未満)	配管の周溶接継手(呼び径100A未満)	体積	25%	7箇所	UT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
				表面	25%	1箇所	PT	25% (1箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
				表面	25%	10箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
				表面	25%	9箇所	PT	25% (3箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所		
				表面	25%	41箇所	PT	25% (11箇所)	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所		
				表面	25%	6箇所	PT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
				表面	25%	33箇所	PT	25% (9箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
				表面	25%	23箇所	PT	25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
				表面	25%	39箇所	PT	25% (10箇所)	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所		
				表面	25%	10箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
B9.21		主冷却材管	抽出及び冷却材ドレンライン	表面	25%	10箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
				表面	25%	9箇所	PT	25% (3箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所			
				表面	25%	41箇所	PT	25% (11箇所)	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所			
				表面	25%	6箇所	PT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
				表面	25%	33箇所	PT	25% (9箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
				表面	25%	23箇所	PT	25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
				表面	25%	39箇所	PT	25% (10箇所)	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所			
				表面	25%	10箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
				表面	25%	10箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
				表面	25%	10箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			

4. 配管 (2/5)

項目番号	カテゴリ	規格	J S M E S N A I - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4							美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)							備考				
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度 第23回 サイクル	2009年度 第24回 サイクル	2010年度 第25回 サイクル	2011年度 ~ 2020年度 第25回 サイクル	2021年度 第26回 サイクル	2022年度 第27回 サイクル	2023年度 第28回 サイクル						
B9.31			母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)																		
			主冷却材管	体積	25%	14箇所	UT	25% (4箇所)	2箇所	-	-	-	-	-	-	2箇所					
B9.32			母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)																		
			主冷却材管	表面	25%	17箇所	PT	25% (5箇所)	2箇所	-	-	3箇所	-	-	-	-	-	-	-		
			加圧器スプレライン	表面	25%	1箇所	PT	25% (1箇所)													
			加圧器スプレライン	表面	25%	0箇所	PT	25% (0箇所)													
			高温側低圧注入ライン	表面	25%	2箇所	PT	25% (1箇所)													
			低温側低圧注入ライン	表面	25%	6箇所	PT	25% (2箇所)	1箇所					1箇所							
B9.40			ソケット溶接継手																		
			主冷却材管	表面	25%	4箇所	PT	25% (1箇所)													
			加圧器補助スプレライン	表面	25%	20箇所	PT	25% (5箇所)	2箇所												
			加圧器補助スプレライン	表面	25%	0箇所	PT	25% (0箇所)													
			抽出及び冷却材ドレンライン	表面	25%	1箇所	PT	25% (1箇所)													
			低温側ほう酸注入ライン	表面	25%	21箇所	PT	25% (6箇所)	4箇所												
			高温側補助注入ライン	表面	25%	8箇所	PT	25% (2箇所)		3箇所											
			低温側補助注入ライン	表面	25%	8箇所	PT	25% (2箇所)	1箇所												
			封水注入ライン	表面	25%	115箇所	PT	25% (29箇所)	5箇所												
			B10.20			筒圧部分への支持部材の取付溶接継手															
加圧器サージライン	表面	7.5%				1箇所	PT	7.5% (1箇所)													
加圧器逃がしライン	表面	7.5%				2箇所	PT	7.5% (1箇所)													
加圧器スプレライン	表面	7.5%				2箇所	PT	7.5% (1箇所)													
抽出ライン	表面	7.5%				2箇所	PT	7.5% (1箇所)													
充てんライン	表面	7.5%				1箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所												

4. 配管 (3 / 5)

項目番号	維持規格	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)						備考								
		2008年度 第23回	2009年度 第24保全サイクル	2010年度	2011年度 ~ 2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度		2023年度 第27保全サイクル							
B10.20	B-K	検査の対象箇所 耐圧部分への支持部材の取付溶接継手 余熱除去ポンプ入ロライン アキユムレタ注入ライン 高温側低圧注入ライン 低温側低圧注入ライン 低温側低圧注入ライン	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度 第23回	2009年度 第24保全サイクル	2010年度	2011年度 ~ 2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度	2023年度 第27保全サイクル		
			表 面	7.5% (2箇所)	15箇所	P T	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	2箇所	
			表 面	7.5%	10箇所	P T	7.5% (1箇所)	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-
			表 面	7.5%	8箇所	P T	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			表 面	7.5%	9箇所	P T	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-
			表 面	7.5%	0箇所	P T	7.5% (0箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B15.50	B-P	検査の対象箇所 圧力保持範囲 支持構造物	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度 第23回	2009年度 第24保全サイクル	2010年度	2011年度 ~ 2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度	2023年度 第27保全サイクル		
			V T - 2	漏えい試験時 100% 100%	1式	V T - 2	漏えい試験時 100% (可能範囲)	100%	100%	100%	-	100%	-	-	100%	
F1.10	F-A	検査の対象箇所 加圧器サージライン 加圧器スプレライン 加圧器補助スプレライン	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度 第23回	2009年度 第24保全サイクル	2010年度	2011年度 ~ 2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度	2023年度 第27保全サイクル		
			V T - 3	25%	8箇所	V T - 3	25% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	
			V T - 3	25%	88箇所	V T - 3	25% (22箇所)	3箇所	4箇所	-	-	-	-	-	5箇所	
			V T - 3	25%	30箇所	V T - 3	25% (8箇所)	2箇所	1箇所	-	-	-	-	-	3箇所	

4. 配管 (4/5)

項目番号	カテゴリ	規格	J S M E S N A I - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	美浜発電所第3号機械検査計画(7カ年)					備考									
								検査方法	検査範囲	2008年度 第23回	2009年度 第24回保全サイクル	2010年度		2011年度 ～ 2020年度 第25回保全サイクル	2021年度 第26回保全サイクル	2022年度	2023年度 第27回保全サイクル					
F1.10	F-A	支持構造物		売てんライン	VT-3	25%	4箇所	MS 3 SH 1		1箇所	-	-	-	-	-	-	-					
							16箇所	RH 8	1箇所	-	-	1箇所	-	-	-	1箇所	-	-				
								MS 5 SH 2 AN 1		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-
							46箇所	RH 6 MS 27 SH 12 AN 1	1箇所	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				加圧器逃がしライン	VT-3	25%																
				余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	25%	46箇所	MS 27 SH 12 AN 1		1箇所	1箇所	-	-	-	-	-	-	7箇所	3箇所			
				抽出及び冷却材ドレンライン	VT-3	25%	19箇所	RH 4 MS 12 HS 1 SH 2		1箇所	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-			
				高温側低圧注入ライン	VT-3	25%	21箇所	RH 5 MS 12 SH 4		1箇所	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	2箇所	1箇所	

4. 配管 (5 / 5)

項目番号	カテゴリ	維持規格	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)										備考							
			JSMESNA1-2012/2013/2014	検査範囲	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度 第23回	2009年度 第24保全 サイクル	2010年度		2011年度 ~ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル			
FL.10	F-A		支持構造物																	
			アキュムレータ注入ライン	25%	VT-3	25%	41箇所 RH 5 MS 18 HS 9 SH 9	VT-3	25% (11箇所)	5箇所	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所			
			低温側低圧注入ライン	25%	VT-3	25%	33箇所 RH 16 MS 13 SH 2 AN 2	VT-3	25% (9箇所)	3箇所	-	-	-	-	-	3箇所	1箇所			
			低温側ほう酸注入ライン	25%	VT-3	25%	28箇所 RH 18 MS 6 HS 2 AN 2	VT-3	25% (7箇所)	3箇所	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所			
			高温側補助注入ライン	25%	VT-3	25%	25箇所 RH 19 MS 5 HS 1	VT-3	25% (7箇所)	1箇所	-	-	-	-	-	4箇所	1箇所			
			低温側補助注入ライン	25%	VT-3	25%	12箇所 RH 5 MS 7	VT-3	25% (3箇所)	1箇所	-	-	-	-	-	2箇所	2箇所			
			封水注入ライン	25%	VT-3	25%	60箇所 RH 53 MS 7	VT-3	25% (15箇所)	7箇所	-	-	-	-	-	3箇所	3箇所			

5. ポンプ (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)					備考
								2008年度 第23回	2009年度 第24回保全 サイクル	2010年度	2011年度 ～ 2020年度 第25回保全 サイクル	2021年度 第26回保全 サイクル	
B6.180		スタッドボルト	体積	代表1台の 25%	24本/台 ×3台	UT	代表1台の 25% (6本)						
B6.190	B-G-1	フランジ表面	VT-1	代表1台の 25%	24箇所/台 ×3台	VT-1	代表1台の 25% (6箇所)						
B6.200		ナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の 25%	24組/台 ×3台	VT-1	代表1台の 25% (6組)						
B10.30	B-K	ポンプ支持部材取付溶接継手	表面	代表1台の 7.5%	3箇所/台 ×3台	PT	代表1台の 7.5% (1箇所)						
B12.10	B-L-1	ポンプケーシングの溶接継手	体積 又は 表面	代表1台の 25%	1箇所/台 ×3台	PT	代表1台の 25% (1箇所)						
B12.20	B-L-2	ポンプケーシングの内表面	VT-3	代表1台の 100%	1/台 ×3台	VT-3	代表1台の 100%						
B15.60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい試験時 100% (可能範囲)	100%	100%			100%	
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台の 25%	3箇所/台 ×3台	VT-3	代表1台の 25% (1箇所)						

6. 弁 (1/2)

項目番号	カテゴリ	規格	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)							備考	
									2008年度 第23回	2009年度 第24保全サイクル	2010年度	2011年度 ~ 2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度	2023年度 第27保全サイクル		
B7.70	B-G-2	J S M E S N A 1 - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4	圧力保持用バルブ、ナット														
			加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1個の25%	3個	VT-1	代表1個の100%	1個	-	-	-	-	-	RV58SB		
			加圧器逃がしライン(1)	VT-1	代表1個の25%	2個	VT-1	代表1個の100%			1個				GM58FN		
			加圧器逃がしライン(2)	VT-1	代表1個の25%	2個	VT-1	代表1個の100%	1個						IA58RGP		
			加圧器スプレライン	VT-1	代表1個の25%	2個	VT-1	代表1個の100%			1個				RA58RCA		
			加圧器補助スプレライン	VT-1	代表1個の25%	1個	VT-1	代表1個の100%					1個		IA58RB		
			抽出ライン	VT-1	代表1個の25%	2個	VT-1	代表1個の100%						1個	IA58RB		
			高温側低圧注入ライン	VT-1	代表1個の25%	4個	VT-1	代表1個の100%	1個							C58	
			低温側低圧注入ライン	VT-1	代表1個の25%	6個	VT-1	代表1個の100%			1個					C58	
			充てんライン	VT-1	代表1個の25%	2個	VT-1	代表1個の100%				1個				C58	
			高温側補助注入ライン	VT-1	代表1個の25%	1個	VT-1	代表1個の100%						1個		C58	
			余熱除去ポンプ入ロライン	VT-1	代表1個の25%	4個	VT-1	代表1個の100%								GM58	
アキユムレート注入ライン	VT-1	代表1個の25%	6個	VT-1	代表1個の100%								C58				

6. 弁 (2/2)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)					備考	
								2008年度 第23回	2009年度 第24回保全サイクル	2010年度	2011年度 ~ 2020年度 第25回保全サイクル	2021年度 第26回保全サイクル		2022年度
B12.30	B-M-1	弁箱の溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	代表1個の 25%	1ヶ-ム/個 ×1個	PT	代表1個の 100%	1ヶ-ム	-	-	-	-	C58	
				代表1個の 25%	0個		代表1個の 100%							-
				代表1個の 25%	1ヶ-ム/個 ×3個		代表1個の 100%							
				代表1個の 25%	1ヶ-ム/個 ×6個		代表1個の 100%							
				代表1個の 25%	1ヶ-ム/個 ×3個		代表1個の 100%							
				代表1個の 25%	1ヶ-ム/個 ×6個		代表1個の 100%							
				代表1個の 25%	1ヶ-ム/個 ×6個		代表1個の 100%							
B12.50	B-M-2	弁本体の内表面	VT-3	同-グ ^{ル-ブ} で1個	3個	VT-3	同-グ ^{ル-ブ} で1個	1個	-	-	-	-	RV58SB	
				同-グ ^{ル-ブ} で1個	4個		同-グ ^{ル-ブ} で1個							
				同-グ ^{ル-ブ} で1個	6個		同-グ ^{ル-ブ} で1個							
				同-グ ^{ル-ブ} で1個	4個		同-グ ^{ル-ブ} で1個							
				同-グ ^{ル-ブ} で1個	6個		同-グ ^{ル-ブ} で1個							
				同-グ ^{ル-ブ} で1個	1個		同-グ ^{ル-ブ} で1個							
				同-グ ^{ル-ブ} で1個	1式		漏えい試験時 100% (可能範囲)							
B15.70	B-P	圧力保持範囲 支持構造物	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい試験時 100% (可能範囲)	100%	-	-	-	-	-	
				代表1個の 25%	1箇所/個 ×3個		代表1個の 25% (1箇所)							
				代表1個の 25%	3箇所/1個 2箇所/1個		代表1個の 25% (1箇所)							
				代表1個の 25%	2箇所/個 ×2個		代表1個の 25% (1箇所)							
				代表1個の 25%	2箇所/個 ×3個		代表1個の 25% (1箇所)							
				代表1個の 25%	3箇所/1個 2箇所/1個		代表1個の 25% (1箇所)							
				代表1個の 25%	3箇所/個 ×1個		代表1個の 25% (1箇所)							
FL.41	F-A	余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	代表1個の 25%	1箇所/個 ×3個	VT-3	代表1個の 25% (1箇所)	-	-	-	-	-	RV58SB	
				代表1個の 25%	3箇所/1個 2箇所/1個		代表1個の 25% (1箇所)							
				代表1個の 25%	2箇所/個 ×2個		代表1個の 25% (1箇所)							
				代表1個の 25%	2箇所/個 ×3個		代表1個の 25% (1箇所)							
				代表1個の 25%	3箇所/1個 2箇所/1個		代表1個の 25% (1箇所)							
				代表1個の 25%	3箇所/個 ×1個		代表1個の 25% (1箇所)							
				代表1個の 25%	2箇所/個 ×2個		代表1個の 25% (1箇所)							

原子炉冷却材圧力バウンダリ範囲拡大に伴う特別検査計画

7. 配管

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)							備考	
								2008年度 第23回	2009年度 第24保全サイクル	2010年度 -	2011年度 ~ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル		
-	-	配管と管台の溶接継手														
		余熱除去ポンプ入ロライン	表面	100%	5箇所	PT	100% (5箇所)			5箇所*						

*：再稼働前の自主点検にて、外面PTを全数実施し、異常のないことを確認済み

クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 余熱除去クーラ

項目 番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考	
								2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
								第25保全サイクル											
C1.20	C-A	管側鏡板と管側フランジとの周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	1箇所/基 × 2基	UT	1つの容器の7.5%		2.5%						2.5%				2021年度 第26保全 サイクル
C2.21	C-B	管側入口管台と管側鏡板との溶接継手	体積及び表面	7.5%	1箇所/基 × 2基	UT・PT	7.5% (1箇所)		1箇所										
		管側出口管台と管側鏡板との溶接継手	体積及び表面	7.5%	1箇所/基 × 2基	UT・PT	7.5% (1箇所)									1箇所			

※1：NRA文書「運用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解釈NRA文書改正という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかわる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、維持規格（2012年版／2013年追補／2014年追補）を亀裂解釈NRA文書改正の施行日より適用する。なお、本サイクル内の過去の維持規格適用期間は以下の通り。

・維持規格2008年版：2012年～2019年5月（本サイクル開始～亀裂解釈NRA文書改正まで）

2. 配管

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度		2020年度	2021年度		
C3.20 C-C		配管支持部材取付溶接継手 余熱除去クローラバイパスライ ン 高温側ループ注入ライン 低温側ループ注入ライン 充てん/高圧注入ポンプ入口 ライン 充てん/高圧注入ポンプ出口 ライン 余熱除去ポンプ入口ライン 余熱除去ポンプ出口ライン A高温側補助注入ライン B高温側補助注入ライン 低温側補助注入ライン 低温側ほう蔵注入ライン 格納容器サンプ戻りライン 燃料取替用水タンク出口ロライ ン	表面	7.5%	4箇所	P T	7.5% (1箇所)						1箇所							
			表面	7.5%	16箇所	P T	7.5% (2箇所)									1箇所				
			表面	7.5%	31箇所	P T	7.5% (3箇所)										1箇所			
			表面	7.5%	10箇所	P T	7.5% (1箇所)											1箇所		
			表面	7.5%	11箇所	P T	7.5% (1箇所)											1箇所		
			表面	7.5%	18箇所	P T	7.5% (2箇所)											1箇所		
			表面	7.5%	21箇所	P T	7.5% (2箇所)											1箇所		
			表面	7.5%	38箇所	P T	7.5% (3箇所)											1箇所		
			表面	7.5%	7箇所	P T	7.5% (1箇所)													
			表面	7.5%	4箇所	P T	7.5% (1箇所)													
			表面	7.5%	5箇所	P T	7.5% (1箇所)											1箇所		
			表面	7.5%	4箇所	P T	7.5% (1箇所)											1箇所		
			表面	7.5%	4箇所	P T	7.5% (1箇所)													
			表面	7.5%	7箇所	P T	7.5% (1箇所)												1箇所	
表面	7.5%	2箇所	P T	7.5% (1箇所)												1箇所				

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考								
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
C5.11	C-F	配管の周溶接継手 (呼び径100A超、肉厚9.5mm超)	体積及び表面	7.5%	33箇所	UT・PT	7.5% (3箇所)													
								1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
								2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
								1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
								1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
								1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
C5.21	C-F	配管の周溶接継手 (呼び径50A以上100A以下、肉厚5mm超)	表面	7.5%	35箇所	PT	7.5% (3箇所)													
								1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
								1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所
								1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
								1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
								1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
C5.30	C-F	配管の周溶接継手 (呼び径50A以上100A以下、肉厚5mm超)	表面	7.5%	46箇所	PT	7.5% (4箇所)													
								2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	
								2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所
								4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所
								1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
								1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014										美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考		
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度							
F1.21	F-A	支持構造物																						
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	7.5%	68箇所 RH 9 MS 6 HS 34 SH 16 AN 3	VT-3	7.5% (6箇所)	2箇所			2箇所				1箇所									
		余熱除去ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	41箇所 RH 5 HS 24 SH 8 MS 4	VT-3	7.5% (4箇所)	1箇所		1箇所	2箇所													
		余熱除去クーラー出口ライン	VT-3	7.5%	95箇所 RH 10 MS 15 HS 47 SH 21 AN 2	VT-3	7.5% (8箇所)	1箇所		1箇所					1箇所									

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考									
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度			
Fl.21	F-A	支持構造物																第25保全サイクル			
		余熱除去クーラバイパスライン	VT-3	7.5%	10箇所 RH 2 MS 1 HS 4 SH 1 AN 2	VT-3	7.5% (1箇所)			1箇所									第26保全サイクル		
		高温側ループ注入ライン	VT-3	7.5%	24箇所 RH 4 MS 3 HS 11 SH 6	VT-3	7.5% (2箇所)		1箇所							1箇所				第27保全サイクル	
		低温側ループ注入ライン	VT-3	7.5%	65箇所 RH 11 MS 38 HS 2 SH 12 AN 2	VT-3	7.5% (5箇所)			1箇所	1箇所			1箇所							第28保全サイクル
		補助注入ライン	VT-3	7.5%	20箇所 RH 20	VT-3	7.5% (2箇所)			1箇所							1箇所				

項目番号	カテゴリ	美浜発電所第3号機検査計画（10カ年）											備考				
		第25保全サイクル										2021年度 第26保全 サイクル					
		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度							
F1.21 F-A	検査の対象箇所 支持構造物	検査方法															
		検査範囲															
		設備数															
		検査方法															
		検査範囲															
		検査方法															
		検査範囲															
		設備数															
	A 高温側補助注入ライン	VT-3	7.5%	65箇所	RH 62 HS 2 AN 1	VT-3	7.5% (5箇所)		2箇所		1箇所			2箇所			
	B 高温側補助注入ライン	VT-3	7.5%	67箇所	RH 65 HS 1 AN 1	VT-3	7.5% (6箇所)		2箇所		2箇所			2箇所			
	低温側補助注入ライン	VT-3	7.5%	80箇所	RH 75 HS 4 AN 1	VT-3	7.5% (6箇所)		2箇所		2箇所			2箇所			
	低温側ほう酸注入ライン	VT-3	7.5%	60箇所	RH 56 HS 3 AN 1	VT-3	7.5% (5箇所)		2箇所		1箇所			1箇所			
	充てん/高圧注入ポンプ入口 ライン	VT-3	7.5%	30箇所	RH 26 AN 4	VT-3	7.5% (3箇所)		1箇所		1箇所			1箇所			
	充てん/高圧注入ポンプ出口 ライン	VT-3	7.5%	43箇所	RH 37 HS 4 AN 2	VT-3	7.5% (4箇所)		1箇所		2箇所			1箇所			

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考						
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
F1.21 F-A	支持構造物																第25保全サイクル	
	格納容器サブ戻りライン	VT-3	7.5%	17箇所 RH 10 HS 2 AN 2 MS 3	VT-3	7.5% (2箇所)				1箇所				1箇所				第26保全サイクル
	燃料取替用水タンク出口ライン	VT-3	7.5%	11箇所 RH 11	VT-3	7.5% (1箇所)												

3. 余熱除去ポンプ

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考					
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	3箇所/台 × 2台	P T	代表1台の7.5% (1箇所)				1箇所							2021年度第26保全サイクル
F1.43	F-A	支持構造物ポンプ台板脚	V T - 3	代表1台の7.5%	1箇所/台 × 2台	V T - 3	代表1台の7.5% (1箇所)				1箇所							

4. 弁

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考												
									2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度													
FL43	F-A		支持構造物						第25版全サイクル										GM54FE												
									余熱除去クローラ出口ライン(1)	VT-3	代表1個の7.5%	1箇所/個×1個	VT-3	1箇所																	
									余熱除去クローラ出口ライン(2)	VT-3	代表1個の7.5%	2箇所/個×2個	VT-3	1箇所															BA54D		
									余熱除去クローラ出口ライン(3)	VT-3	代表1個の7.5%	1箇所/個×2個	VT-3	1箇所															GM54		
									余熱除去クローラバイパスライン	VT-3	代表1個の7.5%	2箇所/個×2個	VT-3	1箇所																BA54R	
									A高温側補助注入ライン	VT-3	代表1個の7.5%	2箇所/個×1個	VT-3	1箇所						1箇所										GM58	
									低温側補助注入ライン	VT-3	代表1個の7.5%	1箇所/個×1個	VT-3	1箇所							1箇所									GM58	
									低温側ほう酸注入ライン	VT-3	代表1個の7.5%	1箇所/個×2個	VT-3	1箇所											1箇所					MOWG	
									充てん/高圧注入ポンプ出口ライン(1)	VT-3	代表1個の7.5%	1箇所/個×1個	VT-3	1箇所																	GM58FN
									充てん/高圧注入ポンプ出口ライン(2)	VT-3	代表1個の7.5%	1箇所/個×2個	VT-3	1箇所																	MOWG
									C/Vサンプ戻りライン	VT-3	代表1個の7.5%	1箇所/個×1個	VT-3	1箇所															1箇所		GM54FE

5. クラス2 機器漏えい検査

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所 系統名・ライン名	運転圧力又は 最高使用圧力 [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)							備考					
						2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		2019年度	2020年度	2021年度		
		原子炉冷却系統																
		CH/SI-P、RHRHx 逃がし弁出口 ライン (PEN#259～3V-8079)	水張状態	水張状態	VT-2									○				
		化学体積制御系統																
		抽出ライン No. 1 (3LCV-459～3MOV-8149A・B・C)	15.41	15.41														
		抽出ライン No. 2 (3MOV-8149A・B・C～3PCV-145、3V-8409)	2.0	2.0														
		抽出ライン No. 3 (3PCV-145、3V-8409～3TCV-143)	0.28	0.28														
		体積制御タンク入口ライン (3TCV-143～3LCV-115A)	0.2	0.2														
		体積制御タンクまわり (3LCV-115A～体積制御タンク～3LCV-115B)	0.103	0.103														
		体積制御タンク出口ライン (3LCV-115B～3V-8471A・B・C)	0.23	0.23														
		A 充てん/高圧注入ポンプ入口ライン (3V-8471A～3V-8485A、3MOV-8109A)	0.23	0.23														
		B 充てん/高圧注入ポンプ入口ライン (3V-8471B～3V-8485B、3MOV-8109B)	0.23	0.23														
		C 充てん/高圧注入ポンプ入口ライン (3V-8471C～3V-8485C、3MOV-8109C)	0.23	0.23														
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン (3V-8485A・B・C～3FCV-122、3V-8403、3HCV-186、3V-8389、3MOV-8814、3MOV-8815、3MOV-8803A・B、3MOV-8816、3V-8911)	17.5	17.5														
		充てんライン (3FCV-122、3V-8403、3V-8378A、3MOV-8145)	15.41	15.41														
		封水注入ライン (3HCV-186、3V-8389～3V-8368A・B・C)	15.41	15.41														

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	運転圧力又は 最高使用圧力 [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
						2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度							
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	化学体積制御系統	0.17	0.17	VT-2	第25保全サイクル										2021年度 第26保全 サイクル						
						第25保全サイクル																
						封水戻りライン (3MOV-8112、3V-8111~3MOV-8100)																
						Aほう酸タンクまわり (ほう酸タンク~3V-8461A、3HCV-110、3V-8457A、3V-8375A、3V-8456A)	水張状態	水張状態														
						Bほう酸タンクまわり (ほう酸タンク~3V-8461B、3HCV-105、3V-8457B、3V-8456B、3V-8375B)	水張状態	水張状態														
						ほう酸ポンプ入口ライン (3V-8461A・B~3V-8372、3V-8459A・B・C・D、3V-8460A・B・C、3V-6171)	水張状態	水張状態														
						ほう酸ポンプ出口ライン (3V-8459A・B・C・D、3V-8460A・B・C~3HCV-110、3HCV-105、3A0V-8883、3V-8442、3V-8439、3FCV-113B、3V-8429、3FCV-114A、3V-8432、3V-8457A・B)	0.19	0.19														
						安全注入系統																
						Aアキユムレータまわり (アキユムレータ~3A0V-8875A、3V-8855A、3MOV-8808A、3V-8955A、3V-8960A、3V-8934A)	4.55	4.55														
						Bアキユムレータまわり (アキユムレータ~3A0V-8875B、3V-8855B、3MOV-8808B、3V-8955B、3V-8960B、3V-8934B)	4.55	4.55														
						Cアキユムレータまわり (アキユムレータ~3A0V-8875C、3V-8855C、3MOV-8808C、3V-8955C、3V-8960C、3V-8934C)	4.55	4.55														
						Aアキユムレータ出口ライン (3MOV-8808A~3V-8956A、3A0V-8877A)	4.55	4.55														
Bアキユムレータ出口ライン (3MOV-8808B~3V-8956B、3A0V-8877B)	4.55	4.55																				
Cアキユムレータ出口ライン (3MOV-8808C~3V-8956C、3A0V-8877C)	4.55	4.55																				

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		運転圧力又は最高使用圧力 [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考									
		系統名・ライン名					2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度										
							第25保全サイクル											第26保全サイクル								
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	安全注入系統		水張状態 水張状態 11.83 15.41 15.41 15.41 15.41 15.41 4.55 7.8 4.12 0.85	水張状態 水張状態 11.83 15.41 15.41 15.41 15.41 15.41 4.55 7.8 4.12 0.85	VT-2																				
		燃料取替用水タンクまわり (燃料取替用水タンク～3V-6415A・B、3V-6451、3V-6470A・B、3V-5400、3V-5412、3V-6413、3V-5410、3V-8869、3V-5413、3V-8932、3V-8434、3V-8918、3V-5414A、3V-5415A、3V-5471、3V-5472、3V-5473、3MOV-6400A・B、3LCV-115D・E、3MOV-8809A・B)																								
		ほう酸注入タンクまわり (3MOV-8803A・B～3MOV-8801A・B、3V-8852、3V-8904、3V-8915、3V-8912)																								
		高圧注入ライン (ループ低温側) (3MOV-8801A・B、3V-8911～3V-8944A・B・C、3V-9148D、3V-9149P)																								
		高圧補助注入ライン (ループ高温側その1) (3MOV-8814～3V-8939A・B・C)																								
		高圧補助注入ライン (ループ低温側) (3MOV-8815～3V-8942A・B・C)																								
		高圧補助注入ライン (ループ高温側その2) (3MOV-8816～3V-8937A・B・C)																								
		低圧補助注入ライン (3MOV-8819～3V-8935A・B)																								
		アキユムレータ窒素供給ライン (3A0V-8880～3V-8947)																								
		アキユムレータ水張りライン (3V-8968～3V-8989)																								
		アキユムレータテストライン (3A0V-8871～3A0V-8961)																								
原子炉キャビティ入口ライン (3V-5420～PEN#301)																										

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	運転圧力又は 最高使用圧力 [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)											備考	
						2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 第26保全 サイクル			
C-H C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	安全注入系統																	
			原子炉キャビティライン (PEN#265~3V-5441)	0.11	0.11	VT-2												
			余熱除去系統															
			A 余熱除去ポンプ入口ライン (3MOV-8701A~3FCV-602A、3MOV-8811A、3V-8708A、3MOV-8809A、3V-8728A)	2.75	2.75													○
			B 余熱除去ポンプ入口ライン (3MOV-8701B~3FCV-602B、3MOV-8811B、3V-8708B、3MOV-8809B、3V-8728B)	2.75	2.75													○
			A 余熱除去ポンプ出口ライン (3V-8728A~3V-8973A・B、3V-8972B、3MOV-8817B、3MOV-8817B、3FCV-602A、3MOV-8706A、3MOV-761、3V-8717A、3V-8720A)	3.44	3.44	VT-2												○
			B 余熱除去ポンプ出口ライン (3V-8728B~3V-8973C、3V-8972B、3MOV-8817B、3FCV-602B、3MOV-8706B、3V-8717B、3V-8720B)	3.44	3.44													○
			格納容器圧力低減系統															
			内部スプレッポンプ入口ライン A系列 (3MOV-6400A、3MOV-6408A~3V-6403A・B)	水張状態	水張状態													○
			内部スプレッポンプ入口ライン B系列 (3MOV-6400B、3MOV-6408B~3V-6403C・D)	水張状態	水張状態													○
			内部スプレッポンプ出口ライン A系列 (3V-6403A・B~3V-6407A・B、3MOV-760、3V-2381、3V-6411A)	2.01	2.01													○
			内部スプレッポンプ出口ライン B系列 (3V-6403C・D~3V-6407C・D、3V-6411B)	2.01	2.01	VT-2												○
			よう素除去薬品タンクまわり (よう素除去薬品タンク~3V-6416A・B)	34kPa	34kPa													○
			よう素除去薬品タンク出口ラインA系列 (その1) (3V-6416A~3V-6460A)	34kPa	34kPa													○
																		※一部気圧試験により検査

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所 系統名・ライン名	運転圧力又は 最高使用圧力 [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考				
						2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 第26保安 サイクル					
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	格納容器圧力低減系統																		
		よう素除去薬品タンク出口ラインA系列 (その2) (3V-6460A～スプレエゼクタ)	34kPa	34kPa								○								
		よう素除去薬品タンク出口ラインB系列 (その1) (3V-6416B～3V-6460B)	34kPa	34kPa								○								
		よう素除去薬品タンク出口ラインB系列 (その2) (3V-6460B～スプレエゼクタ)	34kPa	34kPa								○								
		主給水系統																		
		A 蒸気発生器主給水入口ライン (3FW-520A、3FW-562A、3FW-571A、3FW-569A ～ A蒸気発生器)	6.4	6.4																
		B 蒸気発生器主給水入口ライン (3FW-520B、3FW-562B、3FW-571B、3FW-569B ～ B蒸気発生器)	6.4	6.4																
		C 蒸気発生器主給水入口ライン (3FW-520C、3FW-562C、3FW-571C、3FW-569C ～ C蒸気発生器)	6.4	6.4																
		主蒸気系統																		
		A 蒸気発生器主蒸気出口ライン (A蒸気発生器～3AS-011A、3MS-520A、3HCV- 3016、3MS-537A、3MS-528A)	6.04	6.04																
		B 蒸気発生器主蒸気出口ライン (B蒸気発生器～3MS-520B、3HCV-3017、3MS- 537B、3MS-528B)	6.04	6.04																
		C 蒸気発生器主蒸気出口ライン (C蒸気発生器～3AS-011B、3MS-520C、3HCV- 3018、3MS-537C、3MS-528C)	6.04	6.04																

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	運転圧力又は 最高使用圧力 [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考				
						2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 第26保全 サイクル					
C-H C7.10 C7.30 C7.50 C7.70		1次系補給水系統																		
		加圧器逃がしタンク1次系補給水供給ライン (3A0V-8028~3V-8046, 3V-8012)	0.7	0.7	VT-2															
		格納容器内洗浄水供給ライン (3V-6146~3V-6147)	0.6	0.6																
		液体廃棄物処理系統																		
		格納容器冷却材ドレンポンプ出口ライン (3LCV-1003~3A0V-9170)	0.6	0.6	VT-2															
		格納容器サンプポンプ出口ライン (3A0V-9352A~3A0V-9352B)	90kPa	90kPa																
		蒸気発生器ローダウン系統																		
		A. 蒸気発生器ローダウン試料採取ライン (PEN#284~3A0V-5502A)	6.03	6.03																
		B. 蒸気発生器ローダウン試料採取ライン (PEN#232~3A0V-5502B)	6.03	6.03																
		C. 蒸気発生器ローダウン試料採取ライン (PEN#231~3A0V-5502C)	6.03	6.03	VT-2															
		A. 蒸気発生器ローダウンライン (PEN#279~3A0V-5505A)	6.03	6.03																
		B. 蒸気発生器ローダウンライン (PEN#233~3A0V-5505B)	6.03	6.03																
		C. 蒸気発生器ローダウンライン (PEN#230~3A0V-5505C)	6.03	6.03																
		原子炉補機冷却系統																		
		余熱抽出クーラー出口ライン (PEN#384~3A0V-5138)	210kPa	210kPa																
		余熱抽出クーラー入口ライン (3A0V-5136~PEN#383)	0.8	0.8																
冷却材ポンプ入口ライン (3M0V-5141B~3V-5142)	0.8	0.8	VT-2																	
冷却材ポンプモータ出口ライン (3M0V-5298, 3V-5311~3M0V-5155)	210kPa	210kPa																		

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		運転圧力又は最高使用圧力 [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考		
		系統名・ライン名					2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度			
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	原子炉補機冷却系統					第25保全サイクル										2021年度 第26保全 サイクル		
		冷却材ポンプ出口ライン (3M0V-5299, 3V-5312~3FCV-1241)		210kPa	210kPa				○										
		格納容器循環空調整置入口ライン (3M0V-5160A~3V-5161)		0.8	0.8	VT-2			○										
		格納容器循環空調整置出口ライン (PENE257~3M0V-5160B)		210kPa	210kPa				○										
		1. 次系試料採取系統																	
		加圧器気相部サンブルライン (3A0V-5000~3A0V-5001)		15.41	15.41	VT-2					○								
		加圧器液相部サンブルライン (3A0V-5002~3A0V-5003)		15.41	15.41	VT-2					○								
		1. 次系試料採取系統																	
		1. 次冷却材 A、B ループ高温側サンブルライン (3A0V-5004A, 3M0V-5004B~3A0V-5005)		15.41	15.41	VT-2					○								
		アキムレタータサンブルライン (3A0V-5018A・B・C~3A0V-5019)		4.18	4.18						○								
		計器用空気系統																	
		制御用空気 A ヘッドライン (3M0V-6202~3V-6204A)		0.65	0.65	VT-2				○									
		制御用空気 B ヘッドライン (3M0V-6203~3V-6204B)		0.65	0.65	VT-2				○									
雑用空気系統																			
雑用空気供給ライン (3V-7261~3V-7262)		0.7	0.7	VT-2				○											
消火水系統																			
消火水ライン (3M0V-6931~3V-6932)		0.76	0.76	VT-2				○											

クラス3 機器供用期間中検査 10年計画

1. 余熱除去クーラ (胴側)

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014 ^{*1}		美浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考						
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
D1.10	胴と当板との溶接継手	VT-1	7.5%	2箇所/基 x 2基	VT-1	7.5% 1箇所		1箇所						2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル		
F1.44	支持脚	VT-3	7.5%	2箇所/基 x 2基	VT-3	7.5% 1箇所		1箇所							2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル	

2. 内部スプレクーラ

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考						
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
D1.10	胴と当板との溶接継手	VT-1	7.5%	2箇所/基 x 2基	VT-1	7.5% 1箇所						1箇所		2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル		
F1.44	支持脚	VT-3	7.5%	2箇所/基 x 2基	VT-3	7.5% 1箇所						1箇所			2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル	

3. 1次系冷却クーラ

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考						
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
D1.10	胴と当板との溶接継手	VT-1	7.5%	3箇所/基 x 3基	VT-1	7.5% 1箇所						1箇所		2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル		
F1.44	支持脚	VT-3	7.5%	3箇所/基 x 3基	VT-3	7.5% 1箇所						1箇所			2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル	

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の監視」(令和元年6月5日原簿技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂監視NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかるとの計画変更」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を亀裂監視NRA文書改正の施行日より適用する。なお、本サイクル内の過去の維持規格適用期間は以下の通り。
・維持規格2008年版:2014年~2019年5月(本サイクル開始~亀裂監視NRA文書改正まで)

4. D/G清水冷却器

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考			
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度				
項目番号	力テゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第25保全サイクル							
D1.10	D-A	胴と取付脚との溶接継手	VT-1	7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-1	7.5% 1箇所					2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル	
F1.44	F-A	取付脚	VT-3	7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	7.5% 1箇所					1箇所	-		

5. D/G潤滑油冷却器

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考			
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度				
項目番号	力テゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第25保全サイクル							
D1.10	D-A	胴と取付脚との溶接継手	VT-1	7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-1	7.5% 1箇所					2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル	
F1.44	F-A	取付脚	VT-3	7.5%	2箇所/基 ×2基	VT-3	7.5% 1箇所					1箇所	-		

6. D/G渦巻ストレーナ

維持規格 JSME NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
D1.10	D-A	胴とサポート用ブラケットとの溶接継手	VT-1	7.5%	2箇所/基 × 2基	VT-1	7.5% 1箇所								第26保全 サイクル	-	第27保全 サイクル	
F1.44	F-A	サポート用ブラケット	VT-3	7.5%	2箇所/基 × 2基	VT-3	7.5% 1箇所								1箇所	-		
F1.44	F-A	サポート	VT-3	7.5%	2箇所/基 × 2基	VT-3	7.5% 1箇所								1箇所	-		

7. 海水ストレーナ

維持規格 JSME NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
F1.44	F-A	支持構造物	VT-3	7.5%	4 箇所	VT-3	7.5% 1箇所								第26保全 サイクル	-	第27保全 サイクル	
					AN 4										1箇所	-		

8. 配管		維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014 美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)													備考				
		項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		2019年度	2020年度	2021年度 第26保全サイクル	2022年度
配管支持部材取付溶接継手																			
D1.20	D-A	原子炉補機冷却水系統	VT-1	7.5%	41箇所	VT-1	7.5% 4箇所	1箇所							1箇所		1箇所		
		原子炉補機冷却海水系統	VT-1	7.5%	40箇所	VT-1	7.5% 3箇所	1箇所							1箇所		1箇所		
支持構造物																			
F1.31	F-A	原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5%	265箇所 RH 230 AN 35	VT-3	7.5% 20箇所	3箇所							5箇所		8箇所		1箇所
		原子炉補機冷却海水系統	VT-3	7.5%	189箇所 RH 155 AN 34	VT-3	7.5% 15箇所	2箇所							5箇所		4箇所		1箇所

9. 1次系冷却水ポンプ		維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014 美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)													備考				
		項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		2019年度	2020年度	2021年度 第26保全サイクル	2022年度
第25保全サイクル																			
F1.31	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	7.5%	2箇所/基 x 4基	VT-3	7.5% 1箇所								1箇所				

10. 注

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考							
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	
F1.31	F-A	支持構造物																	
		原子炉補機冷却海水系統	VT-3	7.5%	4 箇所	AN 4	VT-3	7.5%	1箇所								1箇所	-	
		原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5%	2 箇所	RH 2		7.5%	1箇所								1箇所	-	

1.1. クラス3機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考		
		検査の対象箇所	検査方法	運転圧力は最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		2023年度	
		系統名・ライン名																
		燃料ピット冷却浄化系統																
		燃料ピットポンプ入ロライン	VT-2	水圧状態	水圧状態													
		燃料ピットポンプ出ロライン		0.500	0.500													
		原子炉補機冷却水系統																
		A, B1次系冷却水ポンプ入ロライン(Aヘッド戻り)		210kPa	210kPa													
		C, D1次系冷却水ポンプ入ロライン(Bヘッド戻り)		210kPa	210kPa													
		A, B1次系冷却水ポンプ出ロライン(Aヘッド供給)		0.8	0.8													
		C, D1次系冷却水ポンプ出ロライン(Bヘッド供給)		0.8	0.8													
		1次系海水系統																
		A, B海水ポンプ出ロライン		0.240	0.240													
		C, D海水ポンプ出ロライン		0.240	0.240													
		計器用空気系統																
		A, B計器用空気供給ライン	VT-2	0.64	0.64													

クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査7年計画

原子炉容器

項目	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	美浜3号機7年計画							備考						
					設備数	検査方法	検査範囲	2011年度 ～2020年度 第25回保全 サイクル	2021年度 第26回保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27回保全 サイクル		2024年度 -	2025年度 第28回保全 サイクル	2026年度 第29回保全 サイクル			
-	-	600系Ni基合金製の底部	BMV	100% (3.5年)	50箇所	BMV	50箇所											
		底部管台	BMV		50										50			

BMV：ベアメタル検査

クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査7年計画

項目	カテゴリ	試験検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画（7カ年）						備考	
								2009年度 第24保全 サイクル	2010年度	2011年度 ～2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル		2024年度
—	—	配管の円周方向溶接部													
															抽出ライン
		充てんライン	17	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		再生クローラ連絡管													
		抽出ライン連絡管	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		充てんライン連絡管	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉格納容器

維持規格 JSME S NA1－20012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画（10ヵ年）										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年	2015年	2016年	2017年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
E8.10	E-G	機器搬入口用ボルト締付け部	VT-4	25%	56	VT-4	25% 14								第26保全サイクル 14	－	第27保全サイクル	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 内部スプレクーラ

項目 番号	カテゴリ	維持規格	JSME S N A1-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機械検査計画(10カ年)										備考					
				検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016 ～2020 年度 第25保 全率1%	2021 年度 第26保 全率1%	2022 年度 —	2023 年度 第27保 全率1%		2024 年度 —	2025 年度 第28保 全率1%	2026 年度 第29保 全率1%	2027 年度 第30保 全率1%	2028 年度 —
C1.20	C・A	管側鏡板と管側フランジとの溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	1箇所/基 ×2基	UT	代表1基 の7.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.5%	
C2.21	C・B	出入口管台と管側鏡板との溶接継手	体積及び表面	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	UT・PT	代表1基 の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1箇所	
C2.22		呼び径300Aを超える管台内面の丸み部分	体積	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×2基	UT	代表1基 の7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1箇所	

2. 1 次系冷却水クーラ

維持規格 JSME SNA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2021年度 第26保 全材/外	2022年度 —	2023年度 第27保 全材/外	2024年度 —		2025年度 第28保 全材/外	2026年度 第29保 全材/外	2027年度 第30保 全材/外	2028年度 —	2029年度 第31保 全材/外
C1.10	C・A	胴の周溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	4箇所/基 ×3基	UT	1つの 容器の 7.5%	7.5%	—	—	—	7.5%	7.5%	7.5%	—	—	
C1.30								胴と管板との溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×3基	UT	1つの 容器の 7.5%	—	—	—	—
C2.21	C・B	出入口管台と胴との溶接継手	体積 及び表面	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×3基	UT・PT	1つの 容器の 7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	—	1箇所	—	—
C2.22								呼び径300Aを超える管台内面の丸みの部分	体積	1つの 容器の 7.5%	2箇所/基 ×3基	UT	1つの 容器の 7.5% (1箇所)	—	—	—	—
C3.10	C・C	胴と当板との溶接継手	表面	1つの 容器の 7.5%	3箇所/基 ×3基	PT	1つの 容器の 7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	1箇所	—	—	—
F1.43	F・A	支持脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	3箇所/基 ×3基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—	—	1箇所	—	—	—

3. 配管 (1 / 4)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014										美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016 ~2020 年度 第25保 全時/所	2021 年度 第26保 全時/所	2022 年度 第27保 全時/所	2023 年度 第28保 全時/所	2024 年度 第29保 全時/所	2025 年度 第30保 全時/所	2026 年度 第31保 全時/所	2027 年度 第32保 全時/所	2028 年度 第33保 全時/所	2029 年度 第34保 全時/所					
C3.20	C-C	配管支持部材取付溶接継手																				
		格納容器再循環ポンプ出口ライン	表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所										
		内部スプレポンプ入口ライン	表面	7.5%	11箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所										
		内部スプレポンプ出口ライン	表面	7.5%	5箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所										
		内部スプレクレーラ入口ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所										
		内部スプレクレーラ出口ライン	表面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所										
		R H R S - C S S 連絡ライン	表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所										
		燃料取替用水タンク補給用移送ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所								
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所								
		恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所								
		可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	18箇所	PT	7.5% (2箇所)							1箇所					1箇所			
		1次系冷却水Cへッダ戻りライン	表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所								
		1次系冷却水ポンプ入口ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所								
1次系冷却水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所										

3. 配管 (2 / 4)

維持規格 JSME SNA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考																										
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2021年度 第26保 全材/所	2022年度 第27保 全材/所	2023年度 第27保 全材/所	2024年度 第27保 全材/所		2025年度 第28保 全材/所	2026年度 第29保 全材/所	2027年度 第30保 全材/所	2028年度 第30保 全材/所	2029年度 第31保 全材/所																					
C5.11	C・F	配管の周溶接継手 (呼び径100A超、肉厚9.5mm超)	体積 又は表面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-																					
								格納容器再循環サンプ出口ライン	体積 又は表面	7.5%	1.5箇所	PT	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-															
														内部スプレポンプ入口ライン	体積 又は表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-										
																				燃料取替用水タンク補給用移送ライン	体積 及び表面	7.5%	2.5箇所	U.T. PT	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	-					
																										主蒸気大気放出口ライン	体積 又は表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-
																																支持構造物	-	-	-	-	-	-
F1.21	F・A	燃料取替用水タンク出口ライン	VT-3	7.5%	2箇所	VT-3	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-																					
								格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-3	7.5%	8箇所	VT-3	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-															
														内部スプレポンプ入口ライン	VT-3	7.5%	31箇所	VT-3	7.5% (3箇所)	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-										
																				MS 2	MS 7	-	-	-	-	-	-	-	-									
																				HS 1	HS 13	-	-	-	-	-	-	-	-									
RH 4	RH 9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																								
AN 1	AN 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																						

3. 配管 (3 / 4)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME SNA1-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機械検査計画(10カ年)										備考					
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2021年度 第26保 全材/所	2022年度 第27保 全材/所	2023年度 第28保 全材/所	2024年度 第29保 全材/所		2025年度 第30保 全材/所	2026年度 第31保 全材/所	2027年度 第32保 全材/所	2028年度 第33保 全材/所	2029年度 第34保 全材/所
F1.21	F-A	支持構造物	内部スプレポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	MS 5	VT-3	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
						HS 12												
						SH 5												
						RH 4												
						MS 5												
						HS 4												
						SH 6												
						SH 2												
						RH 5												
						AN 2												
MS 1																		
RH 12																		
AN 3																		
MS 5																		
RH 7																		
RH 40																		
AN 2																		
MS 3																		
RH 10																		
AN 2																		

3. 配管 (4 / 4)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME SNA1-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考							
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016 ~2020 年度 第25保 全時/所	2021 年度 第26保 全時/所	2022 年度 第27保 全時/所	2023 年度 第28保 全時/所		2024 年度 第29保 全時/所	2025 年度 第30保 全時/所	2026 年度 第31保 全時/所	2027 年度 第32保 全時/所	2028 年度 第33保 全時/所	2029 年度 第34保 全時/所	
F1.21	F-A	支持構造物	可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	132 箇所	RH 128 AN 4	VT-3	7.5% (10箇所)	2箇所	-	2箇所	-	2箇所	-	1箇所	-	2箇所		
			1次系冷却水Cヘッダダ戻りライン	VT-3	7.5%	23 箇所	RH 20 AN 3	VT-3	7.5% (2箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	
			1次系冷却水ポンプ入口ライン	VT-3	7.5%	23 箇所	RH 19 AN 4	VT-3	7.5% (2箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所
			1次系冷却水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	25 箇所	RH 17 AN 8	VT-3	7.5% (2箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所
			1次系冷却水クローラ入口ライン	VT-3	7.5%	17 箇所	RH 17	VT-3	7.5% (2箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所
			格納容器循環冷却暖房ユニット入口ライン	VT-3	7.5%	12 箇所	RH 12	VT-3	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所
			格納容器循環冷却暖房ユニット出口ライン	VT-3	7.5%	8 箇所	RH 8	VT-3	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所
			格納容器循環空調装置出口海水排水ライン	VT-3	7.5%	15 箇所	RH 15	VT-3	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所
			アニメクス循環排気ライン	VT-3	7.5%	44 箇所	RH 44	VT-3	7.5% (4箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	1箇所

4. 内部スプレポンプ

維持規格		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016 ～2020 年度 第25保 全時/所	2021 年度 第26保 全時/所	2022 年度 —	2023 年度 第27保 全時/所		2024 年度 —	2025 年度 第28保 全時/所	2026 年度 第29保 全時/所	2027 年度 第30保 全時/所	2028 年度 —	2029 年度 第31保 全時/所
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5% (1箇所)	3箇所/台 ×4台	P T	代表1台 の7.5% (1箇所)											1箇所
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	V T - 3	代表1台 の7.5% (1箇所)	1箇所/台 ×4台	V T - 3	代表1台 の7.5% (1箇所)											1箇所

5. 1次系冷却水ポンプ

維持規格		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016 ～2020 年度 第25保 全時/所	2021 年度 第26保 全時/所	2022 年度 —	2023 年度 第27保 全時/所		2024 年度 —	2025 年度 第28保 全時/所	2026 年度 第29保 全時/所	2027 年度 第30保 全時/所	2028 年度 —	2029 年度 第31保 全時/所
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	V T - 3	代表1基 の7.5% (1箇所)	2箇所/台 ×4台	V T - 3	代表1基 の7.5% (1箇所)									1箇所		

6. 恒設代替低圧注水ポンプ

維持規格		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度 第25保 全時/所	2021年度 第26保 全時/所	2022年度 —	2023年度 第27保 全時/所		2024年度 —	2025年度 第28保 全時/所	2026年度 第29保 全時/所	2027年度 第30保 全時/所	2028年度 —	2029年度 第31保 全時/所
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	6箇所×1台	P T	代表1基の7.5% (1箇所)			—		—			1箇所	—		
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	V T-3	代表1基の7.5%	2箇所×1台	V T-3	代表1基の7.5% (1箇所)			—		—			1箇所	—		

7. 原子炉下部キャビティ注水ポンプ

維持規格		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度 第25保 全時/所	2021年度 第26保 全時/所	2022年度 —	2023年度 第27保 全時/所		2024年度 —	2025年度 第28保 全時/所	2026年度 第29保 全時/所	2027年度 第30保 全時/所	2028年度 —	2029年度 第31保 全時/所
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	6箇所×1台	P T	代表1台の7.5% (1箇所)			—		—			1箇所	—		
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	V T-3	代表1基の7.5%	2箇所×1台	V T-3	代表1基の7.5% (1箇所)			—		—			1箇所	—		

8. 弁

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016 ～2020 年度 第25保 全時/所	2021 年度 第26保 全時/所	2022 年度 —	2023 年度 第27保 全時/所	2024 年度 —	2025 年度 第28保 全時/所	2026 年度 第29保 全時/所	2027 年度 第30保 全時/所		2028 年度 —	2029 年度 第31保 全時/所		
F1.43	F-A	支持構造物																		
		内部スプレクター出口ライ ン	VT-3	代表1個 の7.5%	1箇所/ 個×1個 2箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)						1箇所						GM54FC	
		燃料取替用水タンク出口ラ イン	VT-3	代表1個 の7.5%	1箇所/ 個×1個 2箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)							1箇所						GM54FA
		原子炉下部キャビティ注水 ポンプ出口ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	1箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)							1箇所						GM54FD
		恒設代替低圧注水ポンプ出 口ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	2箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)							1箇所						GM54FD
		主蒸気大気放出口ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	2箇所/ 個×3個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)							1箇所						RA36R
		RHR S-CSS 連絡ライ ン	VT-3	代表1個 の7.5%	1箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)							1箇所						GM54FE
		格納容器循環冷暖房ユニッ ト入口ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	1箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)							1箇所						GM32S

9. 漏えい検査 (1 / 6)

項目番号	維持規格	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考		
		検査の対象箇所 系統名・ライン名	SA時使用圧力 (工認記載値) (MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	2016 ～2020 年度 第25保 全年/保	2021 年度 第26保 全年/保	2022 年度 —	2023 年度 第27保 全年/保	2024 年度 —	2025 年度 第28保 全年/保	2026 年度 第29保 全年/保	2027 年度 第30保 全年/保		2028 年度 —	2029 年度 第31保 全年/保
C・H C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	化学体積制御系統	体積制御タンク出口ライン	1.4	0.23	VT-2							○				
		A 充てん/高圧注入ポンプ入口ライン	1.4	0.23	VT-2						○					
		B 充てん/高圧注入ポンプ入口ライン	1.4	0.23	VT-2						○					
		C 充てん/高圧注入ポンプ入口ライン	1.4	0.23	VT-2						○					
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	18.8	17.5	VT-2								○			
		充てんライン	18.8	15.41	VT-2											
		充てん流量制御弁第2バイパスライン	18.8	17.5	VT-2											
		充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン (充てんポンプ/高圧注入ポンプ出口側) (その1)	18.8	17.5	VT-2									○		
		充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン (充てんポンプ/高圧注入ポンプ出口側) (その2)	0.98	0.98	VT-2									○		
		充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン (充てんポンプ/高圧注入ポンプ入口側) (その1)	0.98	0.98	VT-2									○		
		充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン (充てんポンプ/高圧注入ポンプ入口側) (その2)	1.4	1.4	VT-2									○		
		A ほう酸タンクまわり	0	水張状態	VT-2									○		
		B ほう酸タンクまわり	0	水張状態	VT-2									○		
		ほう酸ポンプ入口ライン	0.98	水張状態	VT-2									○		
ほう酸ポンプ出口ライン	0.98	0.19	VT-2									○				

9. 漏えい検査 (2 / 6)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考		
		検査の対象箇所	検査方法	2016～2020年度 第25保 全1/9%	2021年度 第26保 全1/9%	2022年度	2023年度 第27保 全1/9%	2024年度	2025年度 第28保 全1/9%	2026年度 第29保 全1/9%	2027年度 第30保 全1/9%	2028年度	2029年度 第31保 全1/9%					
		安全注入系統																
		ほう酸注入タンクまわり	VT-2		11.83	18.8												
		アキユムレータ注入ライン	VT-2		4.55	4.9												○
		高圧注入ライン (ループ低溫側)	VT-2		15.41	17.16							○					
		燃料取替用水タンクまわり	VT-2		水張状態	0												○
		恒設代替低圧注水ポンプ及び原子炉下部キャビティ注水ポンプ入口ライン	VT-2		水張状態	0												○
		恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン	VT-2		2.7	2.7												○
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口ライン	VT-2		2.7	2.7												○
		可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン	VT-2		2.7	2.7												○
		余熱除去系統																
		A余熱除去ポンプ入口ライン	VT-2		2.75	4.1												○
		B余熱除去ポンプ入口ライン	VT-2		2.75	4.1												○
		A余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2		3.44	4.1												○
		B余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2		3.44	4.1												○
		RHS-CSS連絡ライン	VT-2		4.1	4.1												○

9. 漏えい検査 (3 / 6)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)											備考	
		検査の対象箇所	検査の圧力 (MPa)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度				
		系統名・ライン名	SA時使用圧力 (工認記載値) (MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	2016～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
		格納容器圧力低減系統				第25保全サイクル	第26保全サイクル	—	—	—	—	—	—	—	—	
		内部スプレポンプ入ロライン	2.1	水張状態	VT-2			—	—	—	—	—	—	—	—	—
		内部スプレポンプ出口ライン	2.7	2.7	VT-2			—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水系統						—	—	—	—	—	—	—	—	
		1次系冷却水ポンプ入ロライン	0.98	210kPa	VT-2			—	—	—	—	○	—	—	—	
		1次系冷却水ポンプ出口ライン	1.2	1.2	VT-2			—	—	—	—	—	○	—	—	
		1次系冷却水ポンプCヘッド供給ライン	1.2	1.2	VT-2			—	—	—	—	—	—	—	—	
		1次系冷却水ポンプCヘッド戻りライン	1.2	1.2	VT-2			—	—	—	—	—	—	—	—	
		1次系冷却水タンク窒素加圧ライン	0.98	0.98	VT-2			—	—	—	—	—	—	—	—	
		格納容器循環空調装置出口海水排水ライン	1.2	1.2	VT-2			—	—	—	—	—	—	—	—	
		充てん/高圧注入ポンプ出口海水排水ライン	0	0	VT-2			—	—	—	—	—	—	—	—	
		余熱除去ポンプ出口海水排水ライン	0.7	0.7	VT-2			—	—	—	—	—	—	—	—	
		1次系冷却水系統への海水供給ライン	1.2	1.2	VT-2			—	—	—	—	—	—	—	—	
		可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ接続ライン	0.33	0.33	VT-2			—	—	—	—	—	—	—	—	
		格納容器雰囲気ガスサンプリング冷却器まわり	0.33	0.33	VT-2			—	—	—	—	—	—	—	—	
		格納容器雰囲気ガスサンプリング冷却器出口海水排水ライン	0	0	VT-2			—	—	—	—	—	—	—	—	
		大容量ポンプ海水注入ライン (1次系冷却水系統へ)	1.2	1.2	VT-2			—	—	—	—	—	—	—	—	—

9. 漏えい検査 (4 / 6)

項目番号	カテゴリ	規格 JISME S NAI-2012/2013/2014	検査の対象箇所 系統名・ライン名	SA時使用圧力 (工認記載値) (MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考							
							2016 ～2020 年度 第25保 全方針	2021 年度 第26保 全方針	2022 年度	2023 年度 第27保 全方針	2024 年度	2025 年度 第28保 全方針	2026 年度 第29保 全方針	2027 年度 第30保 全方針	2028 年度	2029 年度 第31保 全方針								
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H		海水系統																					
			A、B海水ポンプ出口ライン	1.2	1.2	VT-2																		
			C、D海水ポンプ出口ライン	1.2	1.2	VT-2																		
			大容量ポンプ海水注入ライン	1.2	1.2	VT-2																		
			主蒸気系統																					
			A 蒸気発生器主蒸気出口ライン	8.0	8.0	VT-2																		
			B 蒸気発生器主蒸気出口ライン	8.0	8.0	VT-2																		
			C 蒸気発生器主蒸気出口ライン	8.0	8.0	VT-2																		
			主給水系統																					
			A 蒸気発生器主給水入口ライン	8.0	8.0	VT-2																		
			B 蒸気発生器主給水入口ライン	8.0	8.0	VT-2																		
			C 蒸気発生器主給水入口ライン	8.0	8.0	VT-2																		
			補助給水系統																					
			復水タンク出口ライン	0		VT-2	水張状態																	
			A 電動補助給水ポンプ出口ライン	15.7	15.7	VT-2																		
B 電動補助給水ポンプ出口ライン	15.7	15.7	VT-2																					
タービン動補助給水ポンプ入口ライン	1.6	1.6	VT-2																					
タービン動補助給水ポンプ出口ライン	13.2	13.2	VT-2																					

9. 漏えい検査 (5 / 6)

項目 番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考				
		検査の対象箇所	検査方法	2016 ～2020 年度 第25保 全47/9	2021 年度 第26保 全47/9	2022 年度	2023 年度 第27保 全47/9	2024 年度	2025 年度 第28保 全47/9	2026 年度 第29保 全47/9	2027 年度 第30保 全47/9	2028 年度	2029 年度 第31保 全47/9							
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	補助給水系統																		
		補助給水ポンプ出口蒸気発生器給水ライン		8.6	8.6	VT-2														
		復水タンク海水供給ライン		1.6	1.6	VT-2														
		制御用空気系統																		
		制御用空気Aヘッダライン		0.98	0.98	VT-2														
		制御用空気Bヘッダライン		0.98	0.98	VT-2														
		Aニュラス空気浄化系統ダンパ作用室蒸気供給ライン		0.98	0.98	VT-2														
		換気空調系統																		
		Aアニュラス循環ファンまわり		0.00245	0.00245	VT-2														
		Bアニュラス循環ファンまわり		0.00245	0.00245	VT-2														
		制御建屋循環ファン入ロライン		-0.00147	-0.00147	VT-2														
		制御建屋循環ファン出ロライン		0.00049	0.00049	VT-2														
		制御建屋冷暖房ユニットまわり		-0.00049	-0.00049	VT-2														
		制御建屋送気ファン入ロライン		-0.00147	-0.00147	VT-2														
		制御建屋送気ファン出ロライン		0.00147	0.00147	VT-2														
中央制御室非常用循環ファン入ロライン		-0.00049	-0.00049	VT-2																
中央制御室非常用循環ファン出ロライン		0.00147	0.00147	VT-2																

9. 漏えい検査 (6 / 6)

維持規格		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考					
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	SA時使用圧力 (工認記載値) (MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	2016 ～2020 年度 第25保 全4/9		2021 年度 第26保 全4/9	2022 年度 -	2023 年度 第27保 全4/9	2024 年度 -	2025 年度 第28保 全4/9	2026 年度 第29保 全4/9		2027 年度 第30保 全4/9	2028 年度 -	2029 年度 第31保 全4/9		
						C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C・H	換気空調系統											
緊急時対策所非常用空気浄化ファン出口ライン	0.0038	0.0038	VT-2																
緊急時対策所空気供給装置接続ライン	0.98	0.98	VT-2																
非常用電源系統																			
A 非常用ディーゼル発電機起動用空気だめ B 非常用ディーゼル発電機起動用空気だめ	0.98	0.98	VT-2																

重大事故等クラス2機器供用期間中検査7年計画表 (クラス1機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器 (1 / 2)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (7カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
B1.101	上部胴と中間胴との周溶接継手	体積	100%	クラス1機器供用期間中検査で管理
B1.102	中間胴と下部胴との周溶接継手	体積	100%	
	中間胴の長手溶接継手	体積	100%	
	下部胴の長手溶接継手	体積	100%	
B2.111	下部胴と下部鏡板との周溶接継手	体積	100%	
B2.121	下部鏡板の周溶接継手	体積	100%	
	下部鏡板の長手溶接継手	体積	100%	
B3.105	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%	
	上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積	100%	
B3.10	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%	
	冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	
	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%	
B3.20	冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%	

1. 原子炉容器 (2/2)

維持規格 JSME SNAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面 100%	
B6.10		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面 100%	
B6.30	B-G-1	ナット	VT-1 100%	
B6.40		スタッドボルト	体積 100%	
B6.50		胴フランジネジ次のネジ部	体積 100%	
B7.10	B-G-2	上蓋用ワッシャ	VT-1 100%	
B14.10	B-O	T/Cハウジングのマーマンクランプ用ボルト、ナット	VT-1 25%	
B15.10	B-P	制御棒駆動ハウジングの溶接継手	体積又は表面 最外周の25%	
F1.41	F-A	圧力保持範囲	VT-2 漏えい試験時100%	
G1.10	G-P-1	支持構造物	VT-3 25%	
G1.40		原子炉容器の内部	VT-3 7.5%	
G1.40		内部取付け物	VT-3 7.5%	
G1.50	G-P-2	構造物・取付け物	VT-3 7.5%	
		炉心支持構造物	VT-3 7.5%	

クラス1機器供用期間中検査で管理

2. 加圧器 (1 / 2)

維持規格 JSME SNA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査範囲	
B2.11	B-B	上部鏡板と上部胴との周溶接継手	体積 5%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		下部鏡板と下部胴との周溶接継手	体積 5%	
B2.12	B-B	上部胴の長手溶接継手	体積 10%	
		下部胴の長手溶接継手	体積 10%	
B2.13	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積 5%	
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手		
		安全弁用管台と容器との溶接継手	体積 管台数の 25%	
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手		
		スプレ用管台と容器との溶接継手		
カージ用管台と容器との溶接継手				
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分		
		安全弁用管台内面の丸みの部分	体積 管台数の 25%	
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分		
		スプレ用管台内面の丸みの部分		
カージ用管台内面の丸みの部分				
B5.40	B-F	管台とセーフエントとの溶接継手 (呼び径100A以上)		
		安全弁用管台とセーフエントとの溶接継手	体積 及び表面 管台数の 25%	
		逃がし弁用管台とセーフエントとの溶接継手		
		スプレ用管台とセーフエントとの溶接継手		
カージ用管台とセーフエントとの溶接継手				

2. 加圧器 (2 / 2)

維持規格 JSME SNA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
B7.20	マンホールの取付ボルト	VT-1	25%	
B8.20	支持部材の容器への取付溶接継手 (支持スカーートの溶接継手)	表面	7.5%	
B15.20	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	
F1.41	支持構造物	VT-3	25%	

クラス1機器供用期間中検査で管理

3. 蒸気発生器 (1/1)

維持規格 JSME SNAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
B2.40	管板と水室鏡板との溶接継手	体積	代表1基の25%	
B3.60	冷却材入口管台及び出口管台の内面の丸みの部分	体積	代表1基の25%	
B5.70	冷却材入口管台及び出口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の25%	
B7.30	1次側マンホールの取付ボルト	VT-1	代表1基の25%	
B8.30	支持部材の容器への取付溶接継手(水室鏡とサポートパッドとの溶接継手)	表面	代表1基の7.5%	
B15.30	圧力保持範囲	VT-2	漏えい試験時100%	
F1.41	支持構造物	VT-3	代表1基の25%	

クラス1機器供用期間中検査で管理

4. 配管 (1 / 5)

維持規格 JSME SNA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
B9.11	B-J	配管の周溶接継手(呼び径100A以上)		検査範囲
		主冷却材管	体積	25%
		加圧器サージライン	体積	25%
		アキユムレクタ注入ライン	体積	25%
		余熱除去ポンプ入口ライン	体積	25%
		加圧器安全弁ライン	体積	25%
		低温側低圧注入ライン	体積	25%
		加圧器逃がしライン	体積	25%
		配管の周溶接継手(呼び径100A未満)		
		加圧器逃がしライン	表面	25%
B9.21		充てんライン	表面	25%
		低温側ほう酸注入ライン	表面	25%
クラス1機器供用期間中検査で管理				

4. 配管 (2/5)

維持規格 JSME SNAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
B9.31		母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)		
		主冷却材管	体積	25%
B9.32	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)		
		主冷却材管	表面	25%
		低温側低圧注入ライン	表面	25%
B9.40		ソケット溶接継手		
		低温側ほう酸注入ライン	表面	25%
B10.20	B-K	耐圧部分への支持部材の取付溶接継手		
		加圧器サージライン	表面	7.5%
		加圧器逃がしライン	表面	7.5%
		充てんライン	表面	7.5%

クラス1機器供用期間中検査で管理

4. 配管 (3 / 5)

維持規格 JSME SNA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	
B10.20	B-K	耐圧部分への支持部材の取付溶接継手		
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%
		アキムレータ注入ライン	表面	7.5%
		低温側低圧注入ライン	表面	7.5%
B15.50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい試験時100%
F1.10	F-A	支持構造物		
		加圧器サージライン	VT-3	25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

4. 配管 (4 / 5)

維持規格 JSME SNAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
FI.10	F-A	支持構造物		
		充てんライン	VT-3	25%
		加圧器逃がしライン	VT-3	25%
		余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	25%
クラス1機器供用期間中検査で管理				

4. 配管 (5 / 5)

項目番号	維持規格 J S M E S N A 1 - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
F1.10	F-A	支持構造物			クラス 1 機器 供用 期間 中 検査 で 管理
		アキユムレータ注入ライン	VT-3	25%	
		低温側低圧注入ライン	VT-3	25%	
		低温側ほう酸注入ライン	VT-3	25%	

5. ポンプ (1/1)

維持規格 JSME SNA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
B6.180	スタッドボルト	体積	代表1台の25%	
B6.190	フランジ表面	VT-1	代表1台の25%	
B6.200	ナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の25%	
B10.30	ポンプ支持部材取付溶接継手	表面	代表1台の7.5%	
B12.10	ポンプケーシングの溶接継手	体積又は表面	代表1台の25%	
B12.20	ポンプケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%	
B15.60	圧力保持範囲	VT-2	漏えい試験時100%	
F1.41	支持構造物	VT-3	代表1台の25%	

クラス1機器供用期間中検査で管理

6. 弁 (1/2)

維持規格 JSME SNA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
B7.70 B-G-2	圧力保持用ボルト、ナット			クラス1機器供用期間中検査で管理
	加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1個の25%	
	加圧器逃がしライン(1)	VT-1	代表1個の25%	
	加圧器逃がしライン(2)	VT-1	代表1個の25%	
	低温側低圧注入ライン	VT-1	代表1個の25%	
	充てんライン	VT-1	代表1個の25%	
	余熱除去ポンプ吸入ライン	VT-1	代表1個の25%	
	アキユムレータ注入ライン	VT-1	代表1個の25%	

6. 弁 (2/2)

維持規格 JSME SNA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	
B12.30	B-M-1	弁箱の溶接継手 (呼び径100A未満)		
		低温側ほう酸注入ライン	表面	代表1個の 25%
B12.50	B-M-2	弁本体の内表面		
		加圧器安全弁ライン	VT-3	同-ゲージル-ブ で1個
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	同-ゲージル-ブ で1個
		アキユムレータ注入ライン	VT-3	同-ゲージル-ブ で1個
		低温側低圧注入ライン	VT-3	同-ゲージル-ブ で1個
B15.70	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%
F1.41	F-A	支持構造物		
		加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1個の 25%
		加圧器逃がしライン(1)	VT-3	代表1個の 25%
		加圧器逃がしライン(2)	VT-3	代表1個の 25%
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	代表1個の 25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査7年計画表 (原子炉冷却材圧力バウンダリ定義変更に伴う特別検査)

7. 配管

維持規格 JSME S N A I - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	
B9.11	B-J	配管の周溶接継手 (呼び径100A以上)		クラス1機器供用期間中検査で管理
		余熱除去ポンプ入ロライン	体積	
B10.20	B-K	耐圧部分への支持部材の取付溶接継手		クラス1機器供用期間中検査で管理
		余熱除去ポンプ入ロライン	表面	
F1.10	F-A	支持構造物		クラス1機器供用期間中検査で管理
		余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	
B15.50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい試験時 100%

8. 弁

維持規格 JSME S N A I - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	
B7.70	B-G-2	圧力保持用ボルト、ナット		クラス1機器供用期間中検査で管理
		余熱除去ポンプ入ロライン	VT-1	
B12.50	B-M-2	弁本体の内表面		クラス1機器供用期間中検査で管理
		余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	
F1.41	F-A	支持構造物		クラス1機器供用期間中検査で管理
		余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	
B15.70	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい試験時 100%

重大事故等クラス2機器供用期間中検査7年計画表 (クラス2機器供用期間中検査範囲)

1. 余熱除去クローラ

維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
C1.20	管側鏡板と管側フランジとの溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
C2.21	管側入口管台と管側鏡板との溶接継手	体積及び表面	7.5%	
	管側出口管台と管側鏡板との溶接継手	体積及び表面	7.5%	

2. 配管 (1 / 6)

維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	
C3.20	C-C	配管支持部材取付溶接継手		
		余熱除去クーラバイパスライン	表面	7.5%
		高温側ループ注入ライン	表面	7.5%
		低温側ループ注入ライン	表面	7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ入口ライン	表面	7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%
		余熱除去クーラ出口ライン	表面	7.5%
		低温側ほう酸注入ライン	表面	7.5%
		格納容器サンプ戻りライン	表面	7.5%
燃料取替用水タンク出口ライン	表面	7.5%		
クラス2機器供用期間中検査で管理				

2. 配管 (2/6)

維持規格		J S M E S N A I - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4				美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス2機器供用期間中検査で管理			
C5.11	C-F	配管の周溶接継手 (呼び径100A超、肉厚9.5mm超)						
		低温側ループ注入ライン	体積 又は表面	7.5%				
		余熱除去ポンプ入口ライン	体積 又は表面	7.5%				
		格納容器サンプ戻りライン	体積 又は表面	7.5%				
		燃料取替用水タンク出口ライン	体積 又は表面	7.5%				
C5.21	C-F	配管の周溶接継手 (呼び径50A以上100A以下、肉厚5mm超)						
		低温側ほう酸注入ライン	表面	7.5%				
		右てん/高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%				
C5.30		ソケット溶接継手						
		低温側ほう酸注入ライン	表面	7.5%				

2. 配管 (3 / 6)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
		支持構造物		
		余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	7.5%
F1.21	F-A	余熱除去ポンプ出ロライン	VT-3	7.5%
		余熱除去クーラー出ロライン	VT-3	7.5%
クラス2機器供用期間中検査で管理				

2. 配管 (4 / 6)

維持規格 JSME SNAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
F1.21	F-A	支持構造物		
		余熱除去クーラバイパスライン	VT-3	7.5%
		高温側ループ注入ライン	VT-3	7.5%
		低温側ループ注入ライン	VT-3	7.5%

クラス2機器供用期間中検査で管理

2. 配管 (5 / 6)

維持規格 JSME SNA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)		備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法		
F1.21	F-A	支持構造物		クラス2機器供用期間中検査で管理	
		低温側ほう酸注入ライン	VT-3		7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ入口ライン	VT-3		7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-3		7.5%

2. 配管 (6 / 6)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	
F1.21	F-A	支持構造物		クラス2機器供用期間中検査で管理
		格納容器サブ戻りライン	VT-3 7.5%	
		燃料取替用水タンク出口ライン	VT-3 7.5%	

3. 余熱除去ポンプ

維持規格 J S M E S N A I - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
C6.10	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
FL.43	支持構造物ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の 7.5%	

4. 弁

維持規格 J S M E S N A I - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)		備考	
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
FL.43	支持構造物			クラス2機器供用期間中検査で管理	
		余熱除去クローラ出口ライン(1)	VT-3		代表1台の 7.5%
		余熱除去クローラ出口ライン(2)	VT-3		代表1台の 7.5%
		余熱除去クローラ出口ライン(3)	VT-3		代表1台の 7.5%
		余熱除去クローラバイパスライン	VT-3		代表1台の 7.5%
		低温側ほう酸注入ライン	VT-3		代表1台の 7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン(1)	VT-3		代表1台の 7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン(2)	VT-3		代表1台の 7.5%
		C/Vサンブ戻りライン	VT-3		代表1台の 7.5%

重大事故等クラス2機器供用期間中検査7年計画表（クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査範囲）

項目 番号	カテ ゴリ	検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	美 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 (7カ年)		備 考
					クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査で管理		
-	-	配管の円周方向溶接部			クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査で管理		
		充てんライン	体積	25%			
		再生クローラ連絡管					
		充てんライン連絡管	体積	25%			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査7年計画表（クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査範囲）

原子炉容器

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画（7カ年）		備考
					クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査で管理		
-	-	600系Ni基合金製の底部	BMV	100% (3.5年)			
		底部管台					

BMV：ペアメタル検査

重大事故等クラス2機器供用期間中検査7年計画表（原子炉格納容器供用期間中検査範囲）

1. 原子炉格納容器

項目 番号	維持規格 カテゴリ	規格 J S M E S N A I - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)		備考
			検査の対象箇所	検査方法 検査範囲	
E8.10	E-G	機器搬入口用ボルト締付け部	VT-4	25%	原子炉格納容器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 漏えい検査

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所 第3号機 検査計画(10カ年)												備考		
		検査の対象箇所 機器名	S A時使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法※	2016～ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 -	2025年度 第28保全 サイクル	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度 -	2029年度 第31保全 サイクル				
D2.10 D2.30	D-B	電源車内燃機関	-	VT-2						○								
		電源車(緊急時対策所用)内燃機関	-	VT-2						○								
		電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)内燃機関	-	VT-2						○								
		冷却水ポンプ(電源車)	-	VT-2						○								
		冷却水ポンプ(電源車(緊急時対策所用))	-	VT-2						○								
		冷却水ポンプ(電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	-	VT-2						○								
		燃料タンク(電源車)	大気圧	VT-2						○								
		燃料タンク(電源車(緊急時対策所用))	大気圧	VT-2						○								
		燃料タンク(電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	大気圧	VT-2						○								
		可搬式オイルポンプ	1.05	VT-2											○			
		可搬式オイルポンプ(入口ライン接続用)10mホース	0.78	VT-2												○		
可搬式オイルポンプ(出口ライン接続用)75m、10mホース	1.0	VT-2													○			

※SA時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。
具体的な実施方法については、今後の成り立ち確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 漏えい検査

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSMES NAI-2012/2013/2014 検査の対象箇所 機器名	S.A時使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法※	美浜発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考					
					2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 -	2025年度 第28保全 サイクル	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度 -	2029年度 第31保全 サイクル							
D2.10 D2.30	D-B	増圧装置空気だめ	1.0	VT-2																
		窒素ポンベ (加圧器逃がし弁作動用)	14.7	VT-2																
		窒素ポンベ (加圧器逃がし弁作動用 (A系)) ~ホース先端	17.16/0.98	VT-2																
		窒素ポンベ (加圧器逃がし弁作動用 (B系)) ~ホース先端	17.16/0.98	VT-2																
		加圧器逃がし弁作動用制御用空気ライン窒素供給用13m (B系)、10m (A系) フレキシブルホース	0.98	VT-2																
		可搬式空気圧縮機 (加圧器逃がし弁作動用) 減圧装置行き3m フレキシブルホース	0.98	VT-2																
		減圧装置増圧装置空気だめ行き1.5m フレキシブルホース	0.98	VT-2																
		増圧装置空気だめ窒素ポンベ (加圧器逃がし弁作動用) 行き10m (A系)、5m (B系) フレキシブルホース	0.98	VT-2																

※S.A時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。
具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 漏えい検査

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所 第3号機 検査計画 (10カ年)											備考		
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所 機器名	S.A時使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法※	2016～ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度	2025年度 第28保全 サイクル	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル		2028年度	2029年度 第31保全 サイクル
		送水車	1.6	VT-2			-	-	-	-	-	-	-	-	○
		大容量ポンプ (放水砲用)	1.2	VT-2			-	-	-	-	-	○	-	-	-
		大容量ポンプ (放水砲用) 取水用20mホース	0.25	VT-2			-	-	-	-	-	○	-	-	-
		大容量ポンプ (放水砲用) 送水用50m、20m、10m、5mホース	1.2	VT-2			-	-	-	-	-	○	-	-	-
		放水砲	1.2	VT-2			-	-	-	-	-	○	-	-	-
		送水車吸水用10mホース	0.2	VT-2			-	-	-	-	-	-	-	-	○
D2.10 D2.30	D-B	送水車吸水用5mホース	0.2	VT-2			-	-	-	-	-	-	-	-	○
		送水車送水用10m、5mホース	1.6	VT-2			-	-	-	-	-	-	-	-	○
		送水車送水用50m、10m、6m、2mホース	1.6	VT-2			-	-	-	-	-	-	-	-	○
		可搬式代替低圧注水ポンプ	1.7	VT-2			-	-	-	-	-	-	-	-	○
		可搬式低圧代替低圧注水ポンプ～可搬式代替低圧注水ポンプ出口接続口	1.7	VT-2			-	-	-	-	-	-	-	-	○
		可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース (フランジ継手付、フランジ継手なし)	1.7	VT-2			-	-	-	-	-	-	-	-	○
		大容量ポンプ	1.2	VT-2			-	-	-	-	-	-	-	-	○

※SA時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。
 具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 漏えい検査

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所 第3号機 検査計画 (10カ年)											備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 機器名	SAM時使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法*	2016～ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 -	2025年度 第28保全 サイクル	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル		2028年度 -	2029年度 第31保全 サイクル
D2.10 D2.30	D-B	大容量ポンプ取水用20mホース	0.25	VT-2			-		-			○	-		
		大容量ポンプ送水用50m、20m、10m、5mホース	1.2	VT-2			-		-			○	-		
		タンクローリー	0.024	VT-2			-		-					-	○
		タンクローリー給油ライン接続用10mホース (燃料油貯蔵タンク用)	0.78	VT-2			-		-					-	○
		タンクローリー給油ライン接続用30mホース	1	VT-2			-		-					-	○
		屋外燃料油取出ライン用短管接続口 (上流側)～屋外燃料油取出ライン用短管接続口 (下流側)	0.6	VT-2			-		-					-	○
		軽油用ドラム缶	大気圧	VT-2			-		-					-	○
		送水車燃料タンク	大気圧	VT-2			-		-					-	○
大容量ポンプ燃料タンク	大気圧	VT-2			-		-					○	-		
大容量ポンプ (放水砲用) 燃料タンク	大気圧	VT-2			-		-					○	-		

*SAM時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。
具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 漏えい検査

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所 第3号機 検査計画(10カ年)												備考
		検査の対象箇所 機器名	S.A時使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法※	2016～ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度	2025年度 第28保全 サイクル	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル		
D2.10 D2.30	D-B	可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	0.33	VT-2			-	-	-	-	○	-	-			
		窒素ポンベ(1次系冷却水タンク加圧用)	14.7	VT-2			-	-	-	-	-	-	-	○		
		窒素ポンベ(1次系冷却水タンク加圧用)～1次系冷却水タンク加圧用窒素供給用マニホールド接続用座(上流側)	17.16/0.98	VT-2			-	-	-	-	-	-	-	-	○	
		1次系冷却水タンク窒素供給用3.5mフレキシブルホース	0.98	VT-2			-	-	-	-	-	-	-	-	○	
		可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ吸水用10mフレキシブルホース	0.33	VT-2			-	-	-	-	-	○	-	-		
		可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ送水用10mフレキシブルホース	0.33	VT-2			-	-	-	-	-	○	-	-		
		格納容器雰囲気ガスサンプリング冷却水屋外排水用50mフレキシブルホース	0	VT-2			-	-	-	-	-	○	-	-		
		窒素ポンベ(アニュラス循環系ダンパ作動用)	14.7	VT-2			-	-	-	-	-	-	-	-	○	
		窒素ポンベ(アニュラス循環系ダンパ作動用)～ホース先端	17.16/0.98	VT-2			-	-	-	-	-	-	-	-	○	
		アニュラスダンパ制御用空気ライン窒素供給用6mフレキシブルホース	0.98	VT-2			-	-	-	-	-	-	-	-	○	
可搬型格納容器ガス試料圧縮装置入口側接続用5mフレキシブルホース	0.98	VT-2			-	-	-	-	-	○	-	-				
可搬型格納容器ガス試料圧縮装置出口側接続用5mフレキシブルホース	0.98	VT-2			-	-	-	-	-	○	-	-				
可搬型格納容器内水素濃度計装置入口側接続用8mフレキシブルホース	0.98	VT-2			-	-	-	-	-	○	-	-				

※S.A時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイクル統一する計画である。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 漏えい検査

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所 第3号機 検査計画 (10カ年)												備考
項目番号	検査の対象箇所 機器名	S A時使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法*	2016～ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 第27保全 サイクル	2023年度 第28保全 サイクル	2024年度 第29保全 サイクル	2025年度 第30保全 サイクル	2026年度 第31保全 サイクル	2027年度 第32保全 サイクル	2028年度 第33保全 サイクル	2029年度 第34保全 サイクル	
D2.10 D2.30	可搬型格納容器内水素濃度計取装置出口側接続用8mフレキシブルホース	0.98	VT-2								○			
	空気供給装置	19.6	VT-2		○ 1カード ル	○ 6カード ル	○ 6カード ル							
	仮設ダクト (緊急時対策所非常用空気浄化ファン～緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット)	0.0038	VT-2											○
	仮設ダクト (緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット～緊急時対策所接続口)	0.0038	VT-2											○
	マニホールド (空気供給装置用)	19.6/0.98	VT-2											○
	ホース (空気供給装置用)	1	VT-2											○

※SA時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。
具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 漏えい検査

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014 検査の対象箇所 機器名	S A時使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法※	2016～ 2020年度 第25保全 サイクル	美浜発電所 第3号機 検査計画(10カ年)						備考		
						2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 -	2025年度 第28保全 サイクル	2026年度 第29保全 サイクル		2027年度 第30保全 サイクル	2028年度 -
D2.10 D2.30	D-B	送水車送水用20mホース	1.6	VT-2										
		スプレイヘッド	1.6	VT-2										

※SA時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。
 具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。

クラス1 配管特別検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数 ^{※2}	検査方法	検査範囲	美浜発電所 第3号機 検査計画 ^{※1}					備考
								2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 -	2025年度 第28保全 サイクル	
		配管の耐圧部分の溶接継手											
		加圧器サージライン	体積	100%	1	UT	1箇所/ 保全サイクル	1箇所	-	1箇所	-	1箇所	
		加圧器逃がしライン	体積	100%	1	UT	1箇所/ 保全サイクル	1箇所	-	1箇所	-	1箇所	
		加圧器安全弁ライン	体積	100%	3	UT	3箇所/ 保全サイクル	3箇所	-	3箇所	-	3箇所	
		加圧器スプレライン	体積	100%	5	UT	5箇所/ 保全サイクル	5箇所	-	5箇所	-	5箇所	
		蓄圧注入ライン	体積	100%	4	UT	4箇所/ 保全サイクル	4箇所	-	4箇所	-	4箇所	
		低温側ほう酸注入ライン	体積	100%	2	UT	2箇所/ 保全サイクル	2箇所	-	2箇所	-	2箇所	
		高温側低圧注入ライン	体積	100%	2	UT	2箇所/ 保全サイクル	2箇所	-	2箇所	-	2箇所	
		余熱除去ポンプ入ロライン	体積	100%	3	UT	3箇所/ 保全サイクル	3箇所	-	3箇所	-	3箇所	

※1：事業本部指示文書「大飯3号機 加圧器スプレライン配管溶接部における有意な欠陥指示の原因調査結果を踏まえた個別検査について」（原保計第58号）に従い、3定検に亘って検査を実施する。

※2：試験カテゴリB・J、項目番号B9.11の溶接継手のうち、「運転温度200℃以上」、「応力改善の実施の有無」、「全層TIG溶接の適用の有無」、「過大な溶接入熱の可能性の有無」及び「形状による影響」の条件により抽出される箇所

定期事業者検査時の安全管理の計画

定期事業者検査時の安全管理の計画

RCS水位		主要工程										RCS水位															
		項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モ-1外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3					
未臨界維持機能	第20条 停止条件	保安規定条文	キャビティ満水	モード3、4	停止条件: 1.7%Δk/k以上																						
			RCS満水	モード5	停止条件: 1.0%Δk/k以上																						
			ミッドレベル	モード3	減速材温度係数 $-81 \times 10^{-5} \Delta t/k/^\circ C$ 以上																						
			RCS全フロー	モード3	ほう酸注入タンクは、重大事故等対応設備を兼ねる。 ほう酸注入タンクほう酸濃度: 20,000ppm以上 ほう酸注入タンクほう酸水量(有効水量): 3.4m ³ 以上 ほう酸注入タンクほう酸水温度: 65℃以上																						
			減速材温度係数	モード3	ほう酸注入タンク																						
			ほう酸注入タンク	モード3	ほう酸注入タンク																						
放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	第81条 1次冷却材中のほう酸濃度	保安規定条文	燃料取出	モード6	1次冷却材中のほう酸濃度: 2,600ppm以上																						
			燃料取出	モード6	1次冷却材中のほう酸濃度: 2,600ppm以上																						
			燃料取出	モード6	1次冷却材中のほう酸濃度: 2,600ppm以上																						
			燃料取出	モード6	1次冷却材中のほう酸濃度: 2,600ppm以上																						
			燃料取出	モード6	1次冷却材中のほう酸濃度: 2,600ppm以上																						
			燃料取出	モード6	1次冷却材中のほう酸濃度: 2,600ppm以上																						
放射性物質放出の防止機能	第57条 原子炉格納容器真空度がし	保安規定条文	燃料取出	モード3、4	原子炉格納容器真空度がし系4系統以上が動作可能(真空度がし機能が確保されていること)																						
			燃料取出	モード3、4	原子炉格納容器真空度がし系4系統以上が動作可能(真空度がし機能が確保されていること)																						
			燃料取出	モード3、4	原子炉格納容器真空度がし系4系統以上が動作可能(真空度がし機能が確保されていること)																						
			燃料取出	モード3、4	原子炉格納容器真空度がし系4系統以上が動作可能(真空度がし機能が確保されていること)																						
			燃料取出	モード3、4	原子炉格納容器真空度がし系4系統以上が動作可能(真空度がし機能が確保されていること)																						
			燃料取出	モード3、4	原子炉格納容器真空度がし系4系統以上が動作可能(真空度がし機能が確保されていること)																						

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		燃料取出 燃料装荷 燃料前立点検 調整運転 R/V開放 R/V組立 RCS停止検査 起動試験 起動試験 △並列														
RCS水位		監視列 RCS停止 1次系弁・ポンプ他点検														
項目	保安規定案文	要求モード	要求内容													
放射性物質放出の防止機能	第33条 原子炉格納容器貫通部	モード5、6	・機器ハンチが弁ポートに閉じられている。 (原子炉格納容器内で燃料移動を行っていない場合は、速やかに閉止できることを条件に以下のいずれかを満足する場合は、運転上閉止してよいとみなさない。) ○1次冷却材ポンプ停止中で余熱除去系統による冷却時、加工器弁が閉まであることおよび加工器水位が10%から30%の範囲内にある場合。 ・原子炉冷却材水位が±910 mm以上である場合 ・右に示す場合 ・その他の貫通部のうち、隔離弁については閉止可能であること(閉止状態であることを含む)、隔離弁以外については閉止可能であること(閉止状態であることを含む)、隔離弁以外については閉止可能であること(閉止状態であることを含む) (原子炉格納容器内で燃料移動を行っていない場合は、速やかに閉止できることを条件に閉止することが許される。この場合、運転上の制限を満足してよいとみなさない。)													
第24条 使用済燃料ピットの水位および水温		全モード	・使用済燃料ピット水位: 631.0m以上(照射済燃料の移動を行っていない場合は、運転上の制限を適用しない。) ・使用済燃料ピット水温: 65℃以下													
原子炉停止後の除熱機能	第37条 1次冷却系	モード3	・蒸気発生器による熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・蒸気発生器による熱除去系が動作不能時は、第85条(表85-8)の運転上の制限も適用する。 ・制御棒の引抜き操作が行われる状態である場合は、蒸気発生器による熱除去系2系統以上が運転中。 ・制御棒の引抜き操作が行われる状態でない場合は、蒸気発生器による熱除去系2系統以上が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中。													
第38条 1次冷却系		モード4	・全熱除去系(全熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。全熱除去系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も適用する。)、または蒸気発生器による熱除去系(蒸気発生器による熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。蒸気発生器による熱除去系が動作不能時は、第85条(表85-8)の運転上の制限も適用する。)のうち、2系統以上が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中。													
第39条 1次冷却系		モード5-1 (1次冷却系減水)	・全熱除去系(全熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。全熱除去系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も適用する。)、1系統が運転中。 ・他の全熱除去系が動作可能または運転中であるか、2基以上の蒸気発生器の水位(領域)が計器スパンの8%以上であること。 ※ 計画的にモード4に加入する場合は、蒸気発生器1基以上の水位(領域)が計器スパンの5%以上であることを条件に、全ての全熱除去系を隔離することを許容													

定期事業者検査時の安全管理の計画

RCS水位		主要工程		RCS降温																
				燃料取出			燃料装荷			起動試験			起動前立点検			調整運転				
項目		保安規定本文		RCS降温																
				1次冷却系	2次冷却系	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モ-1	モ-2	モ-3	モ-4	5-1	5-2	6-1	6-2	7
原子炉停止後の除熱機能		要求モ-1 (1次冷却系非満水)		キャベティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全閉			R/V開放 1次系弁・ポンプ他点検 R/V組立			起動試験 RCS漏えい検査			起動前立点検 起動試験 △並列							
第40条		要求モ-2 (1次冷却系非満水)		要求内容 ・余熱除去系(余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。余熱除去系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認する。)*2系統が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中* ※: 1次冷却系ポンプによる1次冷却系空気を吸着を行う場合は、2時間以上全ての余熱除去系を同時に運転することを許容。 ・ポンプの計算を行う場合は、a. b. c. の全てを満足させることを条件に、15分に限り、全ての余熱除去系を停止することを許容。 a. 炉心出口温度が飽和温度より5.6℃以上下回るように維持されていること。 b. 1次冷却系中のばらつき素温度が低下する操作が行われしていないこと。 c. 1次冷却系水量低下につながる操作が行われていないこと。 ・余熱除去系(余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。余熱除去系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認する。)*1系統以上が運転中(1次冷却系中)のばらつき素温度を低下させる操作を行わないことを条件とし、8時間あたり1時間以上運転し、余熱除去系を停止することを含む。 ・1次冷却系温度: 65℃以下																
第41条		モ-6-2 (キャベティ高水位)		・余熱除去系(余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。余熱除去系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認する。)*1系統以上が運転中(1次冷却系中)のばらつき素温度を低下させる操作を行わないことを条件とし、8時間あたり1時間以上運転し、余熱除去系を停止することを含む。 ・1次冷却系温度: 65℃以下																
第42条		モ-6-1 (キャベティ低水位)		・余熱除去系(余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。余熱除去系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認する。)*2系統が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中(キャベティバネりおよび水抜きを行っている場合は、余熱除去系への切替操作が可能であること。炉心および他の系が運転中であることを条件とし、1系統を停止することを含む) ・1次冷却系温度: 65℃以下																
第62条		モ-3 (原子炉起動時のモ-1から主蒸気安全弁機能検査完了までを除く)		・主蒸気安全弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・主蒸気安全弁が停止する場合は、1系統以上が動作可能かつ炉熱出力が60%超で、かつ70%以下: 6個 原子炉熱出力が55%超で、かつ70%以下: 5個 原子炉熱出力が40%超で、かつ55%以下: 4個 原子炉熱出力が25%超で、かつ40%以下: 3個																
第63条		モ-3		・主蒸気止弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・主蒸気止弁が閉止可能(閉止状態にある場合は、運転上の制限を適用しない。)*																
第64条		モ-3		・主給水隔離弁、主給水制御弁および主給水バイパス制御弁が閉止可能(閉止または手動弁で隔離された状態にある場合、運転上の制限を適用しない。)*																
第65条		モ-3、4 (蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)		・主蒸気逃がし弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・主蒸気逃がし弁が動作不能時は、第85条(表85-9)の運転上の制限も確認する。 ・主蒸気逃がし弁の自動での閉止ができること。																
第66条		モ-3		・補助給水系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・補助給水系が動作不能時は、第85条(表85-8)の運転上の制限も確認する。 ・電動補助給水系ポンプによる2系統およびタービン動補助給水系ポンプによる1系統が動作可能(タービン動補助給水系ポンプについては、原子炉起動時のモ-3において試運転に係る調整を行っている場合は、運転上の制限を適用しない。)*																
				・補助給水系 ・電動補助給水系ポンプ ・タービン動補助給水系ポンプ																
				・補助給水系 ・電動補助給水系ポンプ																
				・主蒸気安全弁 ・主蒸気隔離弁 ・主給水隔離弁 ・主給水制御弁 ・主給水バイパス制御弁 ・主蒸気逃がし弁																
				・補助給水系 ・電動補助給水系ポンプ																
				・補助給水系 ・電動補助給水系ポンプ																

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		RCS水位																		
		又並び RCS降温 燃料取出 燃料装荷 1次系弁・ポンプ他点検 R/V開放 起動試験 RCS濡えい検査 調整運転 起動試験 △並列																		
RCS水位		関連設備																		
項目	保安規定案文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-3	6-4	5-1	5-2	4	5-1	4	5-1	4	3	
原子炉停止後の除熱機能	第67条 復水タンク	モード3、4(蒸気発生器が系統去のために使用されている場合)	<ul style="list-style-type: none"> 復水タンクは、重大事故等対処設備を兼ねる。 復水タンク水量(有効水量)を確認する場合は、第85条(表85-14)の運転上の制限も確認する。 復水タンク水量(有効水量):480m³以上 	x	△									△				△	x	
炉心冷却機能	第51条 アクキュムレレータ	モード3(1次冷却材圧力が6.89MPa[gage]を超え、原子炉起動時のモード3(1次冷却材圧力が6.89MPa[gage]を超えた時点)から、全ての出口電動弁が全開となるまでの間は除く)	<ul style="list-style-type: none"> アクキュムレレータは、重大事故等対処設備を兼ねる。 アクキュムレレータが運転上の制限を逸脱した場合は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認する。 アクキュムレレータほう湯流量:2.600ppm以上 アクキュムレレータほう湯水量(有効水量):29.0m³以上 アクキュムレレータ圧力:4.04MPa[gage]以上 アクキュムレレータ出口電動弁が全開 	△																△
	第52条 非常用炉心冷却系	モード3	<ul style="list-style-type: none"> 高圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 高圧注入系が動作不能時は、第85条(表85-3および表85-4)の運転上の制限も確認する。 低圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 低圧注入系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認する。 高圧注入系の系統が動作可能 低圧注入系の系統が動作可能 																	x
	第43条 非常用炉心冷却系	モード4	<ul style="list-style-type: none"> 高圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 高圧注入系が動作不能時は、第85条(表85-3および表85-4)の運転上の制限も確認する。 充てん系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 充てん系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認する。 低圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 低圧注入系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認する。 高圧注入系または充てん系1系統以上が動作可能 低圧注入系1系統以上が動作可能(蒸気発生ポンプを用いて依然除去運転を行っている場合は、低圧注入系への切替操作が可能であることを条件に、動作不能とはみなさない。) 		x										x					
	第54条 燃料取替用水タンク	モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> 燃料取替用水タンクは、重大事故等対処設備を兼ねる。 燃料取替用水タンクが運転上の制限を逸脱した場合は、第85条(表85-14)の運転上の制限も確認する。 燃料取替用水タンクほう湯流量:2.600ppm以上 燃料取替用水タンクほう湯水量(有効水量):1325m³以上 		x										x					x
原子炉冷却材圧力ハウジングリ機能	第36条 1次冷却材の温度・圧力および1次冷却材温度変化率	通常の1次冷却系の加熱・冷却時(原子炉起動、原子炉停止(異状を除く)、1次冷却系の加圧・減圧検査)および非常用炉心冷却系(原子炉停止時)の開始から終了まで)	<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却材温度・圧力が原子炉容器の非延性破壊防止のための1次冷却材温度・圧力の制限範囲内 1次冷却材温度変化率(原子炉容器):55℃/h以下* 1次冷却材温度変化率(加圧器)加熱率:55℃/h以下* 1次冷却材温度変化率(加圧器)冷却率:110℃/h以下* *: 瞬時の制限値の検算を許す 			x										x			x	
	第43条 加圧器	モード3	<ul style="list-style-type: none"> 加圧器水位が針管システムの94%以下 所内非常用母線から受電している加圧器ニータ2系統が動作可能 																	x
	第44条 加圧器安全弁	モード3、4(1次冷却材温度140℃超)	<ul style="list-style-type: none"> 加圧器安全弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 加圧器安全弁全てが動作可能 	x	△													△	x	
	第45条 加圧器減し弁	モード3	<ul style="list-style-type: none"> 加圧器減し弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 加圧器減し弁が動作不能時は、第85条(表85-3)の運転上の制限も確認する。 加圧器減し弁全てが動作可能 加圧器減し弁弁元全てが動作可能 																x	x

定期事業者検査時の安全管理の計画

RCS水位		主要工程																		
項目	保安規定条文	RCS全フロア																		
		モト3、4、5、6、使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モト3、4、5、6、使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モト3、4、5、6、使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モト3、4、5、6、使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モト3、4、5、6、使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モト3、4、5、6、使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モト3、4、5、6、使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モト3、4、5、6、使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モト3、4、5、6、使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モト3、4、5、6、使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モト3、4、5、6、使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間								
安全上特に重要な関連機能(電源供給)	第73条 外部電源	要求内容 ・小容量電源2回路(当該子炉に対する個々の非常用高圧母線全てに対して電力供給が可能な発電所外からの送電線の回線数とする)以上が動作可能(送電線事故の発生時は、運転上の制限を適用しない。) ・上記の外部電源のうち、1回線以上は他の回線に対して独立性を有していること(独立性を有するとは、「送電線の潮流において1つの変電所または閉所のみに関連しないこと」をいう。)	外部電源 ・起動用変圧器 ・予備変圧器 ・GLBS(主変圧器、所内変圧器)	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3
第74条	ディーゼル発電機	要求内容 ・ディーゼル発電機は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・ディーゼル発電機2基が動作可能(予備潤滑油タンク、エアラン)を行う場合適用しない。ディーゼル発電機には、非常用発電機1基を含めることができる。非常用発電機は、所要の電力供給が可能なものをいう。なお、非常用発電機は複数の号炉で使用する必要がある。 ・上記ディーゼル発電機に対応する燃料油サービスタンク貯油量(保有油量) ・0.66m ³ 以上(ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は、運転上の制限を適用しない。)	ディーゼル発電機 ・燃料油サービスタンク	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3
第75条	ディーゼル発電機	要求内容 ・ディーゼル発電機は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・燃料油貯蔵タンクの油量を確保する場合は、第85条(表85)の運転上の制限も確認する。 ・所定のディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクの油量(保有油量):164m ³ 以上 ・所定のディーゼル発電機の潤滑油タンクの油量(保有油量):3.6m ³ 以上 ・所定のディーゼル発電機の起動用空気圧力:2.45MPa(gage)以上 ※:予備潤滑油タンク(エアラン)を行う場合適用しない。ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は、運転上の制限を適用しない。	ディーゼル発電機 ・燃料油サービスタンク ・非常用発電機(運用を開始するまでは、所要の電力供給が可能な、他の号炉のディーゼル発電機または移動式発電装置を非常用発電機とみなす)	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3
第76条	ディーゼル発電機の燃料油、潤滑油および起動用空	要求内容 ・燃料油貯蔵タンクは、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・燃料油貯蔵タンクの油量を確保する場合は、第85条(表85)の運転上の制限も確認する。 ・所定のディーゼル発電機の燃料油貯蔵タンクの油量(保有油量):164m ³ 以上 ・所定のディーゼル発電機の潤滑油タンクの油量(保有油量):3.6m ³ 以上 ・所定のディーゼル発電機の起動用空気圧力:2.45MPa(gage)以上 ※:予備潤滑油タンク(エアラン)を行う場合適用しない。ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は、運転上の制限を適用しない。	ディーゼル発電機 ・燃料油サービスタンク ・非常用発電機(運用を開始するまでは、所要の電力供給が可能な、他の号炉のディーゼル発電機または移動式発電装置を非常用発電機とみなす)	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3
第77条	非常用直流電源	要求内容 ・非常用直流電源(蓄電池(安全防護系用) [※] および充電器)が動作可能 ※:蓄電池(安全防護系用)は、重大事故等対処設備を兼ねる。蓄電池(安全防護系用)が動作不能時は、第85条(表85-151)の運転上の制限も確認する。	非常用直流充電器 ・非常用直流蓄電池	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3
第78条	非常用直流電源	要求内容 ・所要の設備の維持に必要な非常用直流母線に接続する系統(蓄電池(安全防護系用) [※] および充電器)が動作可能 ※:蓄電池(安全防護系用)は、重大事故等対処設備を兼ねる。蓄電池(安全防護系用)が動作不能時は、第85条(表85-151)の運転上の制限も確認する。	非常用直流充電器 ・非常用直流蓄電池	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3
第79条	所内非常用母線	要求内容 ・次の所内非常用母線が受電していること(所内非常用母線の自動切替の制限を適用しない。) ・2つの非常用低圧母線 ・2つの非常用直流母線 ・4つの非常用計器用母線(非常用計器用母線に電源供給する計器用電源(無停電電源装置)は、重大事故等対処設備を兼ねる。)	非常用高圧母線 ・非常用低圧母線 ・非常用直流母線 ・非常用計器用母線	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3
第80条	所内非常用母線	要求内容 ・所要の設備の維持に必要な次の所内非常用母線が受電していること(所内非常用母線の自動切替の制限を適用しない。) ・非常用高圧母線 ・非常用低圧母線 ・非常用直流母線 ・非常用計器用母線(非常用計器用母線に電源供給する計器用電源(無停電電源装置)は、重大事故等対処設備を兼ねる。)	非常用高圧母線 ・非常用低圧母線 ・非常用直流母線 ・非常用計器用母線	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3

定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		RCS水位											調整運転								
		又個別 RCS降温 燃料取出 燃料装荷 1次系弁・ポンプ他点検 R/V組立 R/V開放 起動前点検 起動試験 RCS漏えい検査 起動試験 △並列																			
項目	保安規定案文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	5-1	5-2	6-1	6-2	5-1	5-2	4	3			
安全上特に重要な関連機能 (海水系統等)	第68条 原子炉補機冷却水系	モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉補機冷却水系は、重大事故等対応設備を兼ねる。 原子炉補機冷却水系が動作不能時は、第85条(表85-7)の運転上の制限も確認する。 原子炉補機冷却水系2系統が動作可能 	×	×																
		モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉補機冷却水系は、重大事故等対応設備を兼ねる。 原子炉補機冷却水系が動作不能時は、第85条(表85-7)の運転上の制限も確認する。 原子炉補機冷却水系2系統が動作可能 	×	×																
		モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> 制御用空気系 	×	×																
		モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室非常用循環系(中央制御室非常用循環系計装) 	×	×																
安全上特に重要な関連機能 (制御用空気系)	第70条 制御用空気系	モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> 制御用空気系は、重大事故等対応設備を兼ねる。 原子炉補機冷却水系が動作不能時は、第85条(表85-7)の運転上の制限も確認する。 原子炉補機冷却水系2系統が動作可能 	×	×																
		モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> 制御用空気系 	×	×																
安全上特に重要な関連機能 (制御室及びその連へい・換気空間系)	第34条 計測および制御設備(中央制御室非常用循環系計装)	モード3、4および使用済燃料ピットでの燃料	<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室非常用循環系は、重大事故等対応設備を兼ねる。 中央制御室非常用循環系が動作不能時は、第85条(表85-17)の運転上の制限も確認する。 中央制御室非常用循環系2系統が動作可能 	×	×																
		モード3	<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室非常用循環系 	×	×																
制御室外からの安全停止機能	第34条 計測および制御設備(中央制御室外原子炉停止装置)	モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> 加圧器ポンプ 加圧器圧力 	×																	
		モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> 充てん/高圧注入ポンプ 加圧器/バックアップヒータ 抽出水トリップアイス隔離弁 海水ポンプ 1次冷却水ポンプ 電動冷却水ポンプ 加圧器発生器水位(広域) 加圧器発生器水位(狭域) 加圧器圧力 中性子系(中性子源領域) 1次冷却材圧力(広域) 1次冷却材温度(広域)(低温度) 	×																	
運転時のアラート状態把握機能	第34条 計測および制御設備(事故時監視計装)	モード3	<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却材圧力(広域); 2チャンネル[※] 加圧器水位; 2チャンネル[※] 1次冷却材温度(広域)(高温側); 3チャンネル[※] 1次冷却材温度(広域)(低温度側); 3チャンネル[※] 加圧器タンク水位; 2チャンネル[※] 蒸気発生器圧力; 2チャンネル(各ライン)[※] 加圧器タンク水位; 2チャンネル[※] 蒸気発生器水位(広域); 3チャンネル[※] 蒸気発生器水位(狭域); 2チャンネル(各SG)[※] 補助給水流量; 3チャンネル[※] 燃料取替用水タンク水位; 2チャンネル[※] 格納容器再循環ポンプ水位(広域); 2チャンネル[※] 格納容器再循環ポンプ水位(狭域); 2チャンネル[※] 格納容器内圧力; 2チャンネル[※] 格納容器内温度; 2チャンネル[※] 格納容器内高レベルエリアモニタ(低レベル); 2チャンネル[※] 格納容器内高レベルエリアモニタ(高レベル); 2チャンネル[※] 1次冷却材タンク水位; 2チャンネル[※] 制御用空気圧力; 2チャンネル[※] 高圧安全注入流量; 2チャンネル[※] 低圧安全注入流量; 2チャンネル[※] 各計装は、重大事故等対応設備を兼ねる。各計装が動作不能時は、第85条(表85-16)の運転上の制限も確認する。 	×																	
		モード3	<ul style="list-style-type: none"> 1次冷却材圧力(広域); 2チャンネル[※] 加圧器水位; 2チャンネル[※] 1次冷却材温度(広域)(高温側); 3チャンネル[※] 1次冷却材温度(広域)(低温度側); 3チャンネル[※] 加圧器タンク水位; 2チャンネル[※] 蒸気発生器圧力; 2チャンネル(各ライン)[※] 加圧器タンク水位; 2チャンネル[※] 蒸気発生器水位(広域); 3チャンネル[※] 蒸気発生器水位(狭域); 2チャンネル(各SG)[※] 補助給水流量; 3チャンネル[※] 燃料取替用水タンク水位; 2チャンネル[※] 格納容器再循環ポンプ水位(広域); 2チャンネル[※] 格納容器再循環ポンプ水位(狭域); 2チャンネル[※] 格納容器内圧力; 2チャンネル[※] 格納容器内温度; 2チャンネル[※] 格納容器内高レベルエリアモニタ(低レベル); 2チャンネル[※] 格納容器内高レベルエリアモニタ(高レベル); 2チャンネル[※] 1次冷却材タンク水位; 2チャンネル[※] 制御用空気圧力; 2チャンネル[※] 高圧安全注入流量; 2チャンネル[※] 低圧安全注入流量; 2チャンネル[※] 各計装は、重大事故等対応設備を兼ねる。各計装が動作不能時は、第85条(表85-16)の運転上の制限も確認する。 	×																	

定期事業者検査時の安全管理の計画

項目	RCS水位	主要工程		作業列															
		RCS水位		燃料取出		燃料装置		燃料試験		起動前点検		調整運転							
		要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モ-ト外	6-2	5-1	4	5-1	4	3			
重大事故等対策設備	第85条(85-3-1) 1次冷却系のワイドアンドプリアード	モード3、4 (蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	・高圧注入系の系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であること)。 ・加圧器遮断が1台2台による1次冷却系統の減圧系が動作可能	×	△									△					
	第85条(85-4-1) 炉心注水→非常用炉心冷却系	モード3、4、5、6	・高圧注入系の1系統以上が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であること)。 ・低圧注入系の1系統以上が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であること)。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	第85条(85-4-2) 炉心注水→置圧注入系	モード3、4、5、6	・アクチュエレータほろ素濃度が2,600 ppm 以上 ・モード3(1次冷却材圧力が6.89 MPa(gage)を超える場合) ・モード3(1次冷却材圧力が4.04 MPa(gage)以上)において、アクチュエレータ圧力が6.89 MPa(gage)以下の場合)、4、5および6において、アクチュエレータ圧力が1.0 MPa(gage)以上	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	第85条(85-4-3) 炉心注水→C充てん/高圧注入ポンプ(自己冷却)による代替炉心注水	モード3、4、5、6	・C充てん/高圧注入ポンプ(自己冷却)1台 ・燃料取替用水タンク ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・可搬式オイルポンプ ・タンクローリー ・燃料油移送ポンプ ・燃料油移送ポンプ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	第85条(85-4-4) 炉心注水→A、B内部スプレホンプ(RHRS-CSS連続ライン使用)による代替炉心注水	モード3、4、5、6	・A、B内部スプレホンプによる代替炉心注水系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む)できること)。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	第85条(85-4-5) 炉心注水→可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	モード3、4、5、6	・可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水系統が動作可能	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	第85条(85-4-6) 代替再循環	モード3、4、5、6	・A、B内部スプレホンプ(RHRS-SS連続ライン使用)による代替再循環系が動作可能(系統構成含む)できること、または運転中であること)。 ・B余熱除去ポンプ(海水冷却)および充てん/高圧注入ポンプ(海水冷却)による高圧代替再循環系、またはB余熱除去ポンプ(海水冷却)による低圧代替再循環系が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であること)。 ・A余熱除去ポンプ(海水冷却)1台 ・格納容器再循環ポンプ2基※ ・格納容器再循環ポンプ2基※ ・B余熱除去ポンプ(海水冷却)1台 ・C充てん/高圧注入ポンプ(海水冷却)1台 ・大容量ポンプ ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・可搬式オイルポンプ ・タンクローリー ・燃料油移送ポンプ ※: A、B内部スプレホンプ(RHRS-SS連続ライン使用)を用いる再循環用1基およびB余熱除去ポンプ(海水冷却)を用いる再循環用1基	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

定期事業者検査時の安全管理の計画

RCS水位	主要工程															
	項目															
	RCS水位															
	RCS降溫															
重大事故等対策設備	第85条(85-8-1) 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	要求モード モード3、4(蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	要求内容 モード3において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。モード4において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。タービン動補給ポンプの制御は、原子的燃焼装置の動作状態に依存する。タービン動補給ポンプの動作は、現場手動による起動を含む。) モード3において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。タービン動補給ポンプの制御は、原子的燃焼装置の動作状態に依存する。タービン動補給ポンプの動作は、現場手動による起動を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> タービン動補給ポンプ1台 タービン動補給ポンプ起動弁(現場手動操作)1台 送水車3台 復水タンク 空冷式非常用発電装置 燃料油貯蔵タンク 可搬式オイルポンプ 燃料油移送ポンプ タンクローリー 送水車 軽油ドラム缶 												
	第85条(85-9-1) 蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)	モード3、4(蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	要求内容 モード3、4において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。モード4において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。タービン動補給ポンプの制御は、原子的燃焼装置の動作状態に依存する。タービン動補給ポンプの動作は、現場手動による起動を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> タービン動補給ポンプ1台 タービン動補給ポンプ起動弁(現場手動操作)1台 送水車3台 復水タンク 空冷式非常用発電装置 燃料油貯蔵タンク 可搬式オイルポンプ 燃料油移送ポンプ タンクローリー 送水車 軽油ドラム缶 												
	第85条(85-10-1) 蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)	モード3、4、5、6	要求内容 モード3、4、5、6において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。モード5において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。モード6において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。タービン動補給ポンプの制御は、原子的燃焼装置の動作状態に依存する。タービン動補給ポンプの動作は、現場手動による起動を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> タービン動補給ポンプ1台 タービン動補給ポンプ起動弁(現場手動操作)1台 送水車3台 復水タンク 空冷式非常用発電装置 燃料油貯蔵タンク 可搬式オイルポンプ 燃料油移送ポンプ タンクローリー 送水車 軽油ドラム缶 												
	第85条(85-11-1) 蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)	モード3、4、5、6	要求内容 モード3、4、5、6において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。モード5において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。モード6において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。タービン動補給ポンプの制御は、原子的燃焼装置の動作状態に依存する。タービン動補給ポンプの動作は、現場手動による起動を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> タービン動補給ポンプ1台 タービン動補給ポンプ起動弁(現場手動操作)1台 送水車3台 復水タンク 空冷式非常用発電装置 燃料油貯蔵タンク 可搬式オイルポンプ 燃料油移送ポンプ タンクローリー 送水車 軽油ドラム缶 												
	第85条(85-12-1) 使用済燃料ピットに燃油排水から使用済燃料ピットへの注水	モード3、4、5、6	要求内容 モード3、4、5、6において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。モード5において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。モード6において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。タービン動補給ポンプの制御は、原子的燃焼装置の動作状態に依存する。タービン動補給ポンプの動作は、現場手動による起動を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> タービン動補給ポンプ1台 タービン動補給ポンプ起動弁(現場手動操作)1台 送水車3台 復水タンク 空冷式非常用発電装置 燃料油貯蔵タンク 可搬式オイルポンプ 燃料油移送ポンプ タンクローリー 送水車 軽油ドラム缶 												
第85条(85-12-2) 使用済燃料ピットへのスプレイング	モード3、4、5、6	要求内容 モード3、4、5、6において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。モード5において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。モード6において、復水タンクまたは送水車を用いたタービン動補給ポンプによる蒸気発生器への給水を1系統が動作可能(ポンプが手動起動(系統構成含む))であること。タービン動補給ポンプの制御は、原子的燃焼装置の動作状態に依存する。タービン動補給ポンプの動作は、現場手動による起動を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> タービン動補給ポンプ1台 タービン動補給ポンプ起動弁(現場手動操作)1台 送水車3台 復水タンク 空冷式非常用発電装置 燃料油貯蔵タンク 可搬式オイルポンプ 燃料油移送ポンプ タンクローリー 送水車 軽油ドラム缶 													